

「2019年卒学生の就職活動の実態に関する調査」

公益社団法人全国求人情報協会の専門部会である「新卒等若年雇用部会」は、調査・研究活動の一環で、民間企業・団体への就職活動を経験した全国の大学4年生・大学院2年生を対象とするアンケート調査を実施し2019年卒学生の就職活動実態をまとめましたので、ご報告します。※スケジュールの詳細はP43に掲載しております。

TOPICS

- 民間企業・団体への就職活動を経験した大学生/大学院生の9割以上が3月時点で進路確定。(P2)
- 就職活動に関する情報収集の開始時期は、「大学3年/大学院1年の6～9月頃」が最も高い。(P11)
- 大学生の就職活動の各プロセスにおける活動量は、プレントリー23.4社、企業説明会参加14.5社、書類選考10.9社、面接など対面選考7.7社となり、いずれも前年を下回る。(P15)
- 就職活動による各活動の支障状況は、大学生で「アルバイト」、大学院生は「ゼミや研究室での活動」が最も高い。(P27)
- 大学生の勤務地の志向は、都市部・首都圏派:3割半ば、地方派:2割超で、「地方派」が前年より増加。(P28)
- インターンシップ参加時期は、大学生で「大学3年生8月」が最も多く、この時期に初めて参加。(P36)
- インターンシップの認知きっかけは「就職情報サイト/就職情報アプリ/就職情報誌」がトップ。参加期間は、大学生・大学院生ともに「1日」が中心も、大学院生のほうが参加期間が長い。(P38)
- インターンシップ参加企業への入社予定は、大学生で3割。4割強が「異業種に入社予定」。(P42)

CONTENTS

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| ①卒業後の進路確定状況…………… 2 | ⑧就職予定先を選ぶ際の重視点……………24・ |
| ②就職予定先への満足度、評価…………… 3 | ⑨在学中に実施したこと…………… 26 |
| ③就職予定先の企業状況…………… 6 | ⑩就職活動による各活動への支障状況…………… 27 |
| ④就職活動の開始時期、終了時期、実施期間……………11 | ⑪勤務地の志向…………… 28 |
| ⑤就職活動の各プロセスの活動量…………… 15 | ⑫従業員規模の志向…………… 32 |
| ⑥知りたかった情報、知ることができた情報…………… 20 | ⑬インターンの参加状況…………… 36 |
| ⑦就職予定先に関する情報源…………… 22 | |

●調査の概要

- 1) 調査目的: 大学生や大学院生の就職活動の実態を把握し、関係各位の参考に供する。
- 2) 調査対象: 民間企業・団体への就職活動を在学中に経験した(*)全国の大学4年生・大学院2年生 1,531名 *就職活動の経験者を、プレントリー(資料・採用情報の請求)、説明会、書類選考、対面選考のいずれか1つ以上の経験者と定義した。当該の条件を満たす1,464名で集計を実施
- 3) 調査時期: 2019年3月20日～29日
- 4) 調査方法: インターネット調査(調査実施機関:株式会社マクロミル)ーマクロミル社のモニターにスクリーニング調査を行って対象者を抽出し、学校種別、性別、専攻系統(文理)の構成比が母集団に近づくよう、「文部科学省学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。

◀地域区分の内訳▶

- 関東= 東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県
- 中部= 静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県
- 近畿= 京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県
- その他地域・計=「関東」「中部」「近畿」以外の地域

<回収数>

大学生	1,311
文系	875
国公立	103
私立	772
理系	436
国公立	136
私立	300
大学院生	153

※ウェイトバック集計を行って
いるため、N数の内訳を足し
合わせても合計と一致しな
い場合がある。

お問い合わせ先/公益社団法人全国求人情報協会 業務部・佐藤日出男 Tel03-3288-0881 cyousa@zenkyukyo.or.jp
調査リリース資料は、こちらからダウンロードできます。 <https://www.zenkyukyo.or.jp/2019shinsotsu/>

①卒業後の進路確定状況

**民間企業・団体への就職活動を経験した大学生/大学院生の9割半ばが3月時点で進路を確定。
大学生の文理別、エリア別ともに、いずれも9割超が進路を確定。**

民間企業・団体への就職活動経験者は、調査を実施した3月時点では、大学生・大学院生ともに9割半ばが卒業後の進路を確定している。属性別にみると、大学生の文理別、エリア別はいずれも9割超。

図表1 卒業後の進路確定状況(単一回答、単位=%)

	n=	民間企業・団体に就職する	民間企業・団体以外(公務員、教員などに就職する)	就職確定者・社	起業する	大学院などへ進学する	留学する	パート、アルバイトなどの臨時的収入を目的とした仕事に就く	留年するので、卒業しない	その他	進路確定者・社	まだ進路が確定していない
大学生	1,311	81.1 (0.5)	5.0 (-1.6)	<u>86.1</u> <u>(-1.1)</u>	0.3 (-0.1)	3.7 (0.3)	0.9 (0.6)	1.7 (-1.0)	2.5 (0.2)	0.7 (0.5)	<u>95.8</u> <u>(-0.7)</u>	4.2 (0.7)
文系	875	84.0 (1.0)	4.3 (-0.6)	<u>88.3</u> <u>(0.4)</u>	0.4 (-0.2)	1.4 (0.6)	1.3 (0.9)	2.6 (-0.2)	1.7 (-1.2)	1.0 (0.7)	<u>96.7</u> <u>(1.0)</u>	3.3 (-1.0)
国公立	103	82.4 (-1.1)	6.0 (-0.4)	<u>88.4</u> <u>(-1.5)</u>	0.3 (0.3)	0.9 (0.3)	1.1 (1.1)	3.2 (-0.0)	1.7 (-1.0)	- (-0.9)	<u>95.7</u> <u>(-1.7)</u>	4.3 (1.7)
私立	772	84.2 (1.3)	4.1 (-0.5)	<u>88.3</u> <u>(0.9)</u>	0.4 (-0.4)	1.5 (0.6)	1.3 (0.8)	2.5 (-0.2)	1.7 (-1.2)	1.1 (1.0)	<u>96.9</u> <u>(1.5)</u>	3.1 (-1.5)
理系	436	75.3 (-0.2)	6.3 (-3.7)	<u>81.5</u> <u>(-3.9)</u>	- (-)	8.2 (-0.5)	- (-)	- (-2.7)	4.1 (2.9)	0.2 (0.2)	<u>94.0</u> <u>(-4.0)</u>	6.0 (4.0)
国公立	136	68.4 (-9.0)	8.7 (-1.4)	<u>77.0</u> <u>(-10.4)</u>	- (-)	10.4 (0.4)	- (-)	- (-2.5)	6.5 (6.5)	- (-)	<u>94.0</u> <u>(-6.0)</u>	6.0 (6.0)
私立	300	78.4 (3.1)	5.2 (-4.7)	<u>83.6</u> <u>(-1.6)</u>	- (-)	7.2 (-1.4)	- (-)	- (-2.7)	3.0 (1.6)	0.3 (0.3)	<u>94.1</u> <u>(-3.8)</u>	5.9 (3.8)
関東	498	81.7 (1.8)	6.2 (-0.8)	<u>88.0</u> <u>(1.0)</u>	- (-0.8)	5.0 (1.2)	1.3 (1.1)	1.3 (-2.0)	1.5 (-0.5)	0.4 (0.2)	<u>97.4</u> <u>(0.2)</u>	2.6 (-0.2)
中部	244	83.2 (2.1)	2.2 (-5.9)	<u>85.4</u> <u>(-3.8)</u>	0.1 (0.1)	1.8 (1.8)	1.3 (-0.1)	1.4 (-1.1)	4.4 (1.5)	0.3 (0.3)	<u>94.9</u> <u>(-1.3)</u>	5.1 (1.3)
近畿	272	84.3 (8.4)	3.0 (-3.0)	<u>87.3</u> <u>(5.4)</u>	1.2 (1.2)	1.0 (-5.6)	- (-)	2.1 (-1.0)	3.6 (0.0)	0.7 (0.1)	<u>95.9</u> <u>(0.1)</u>	4.1 (-0.1)
その他	297	75.5 (-15.2)	6.8 (3.4)	<u>82.3</u> <u>(-11.9)</u>	- (-)	5.5 (4.8)	0.7 (0.7)	2.2 (2.2)	1.5 (1.0)	1.6 (1.6)	<u>93.9</u> <u>(-1.5)</u>	6.1 (1.5)
大学院生	153	85.6 (2.4)	6.5 (0.1)	<u>92.2</u> <u>(2.6)</u>	- (-)	1.3 (-1.9)	0.7 (0.7)	2.0 (0.4)	0.7 (-0.1)	- (-1.6)	<u>96.7</u> <u>(-0.1)</u>	3.3 (0.1)

* カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。

* 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

②就職予定先への満足度、評価

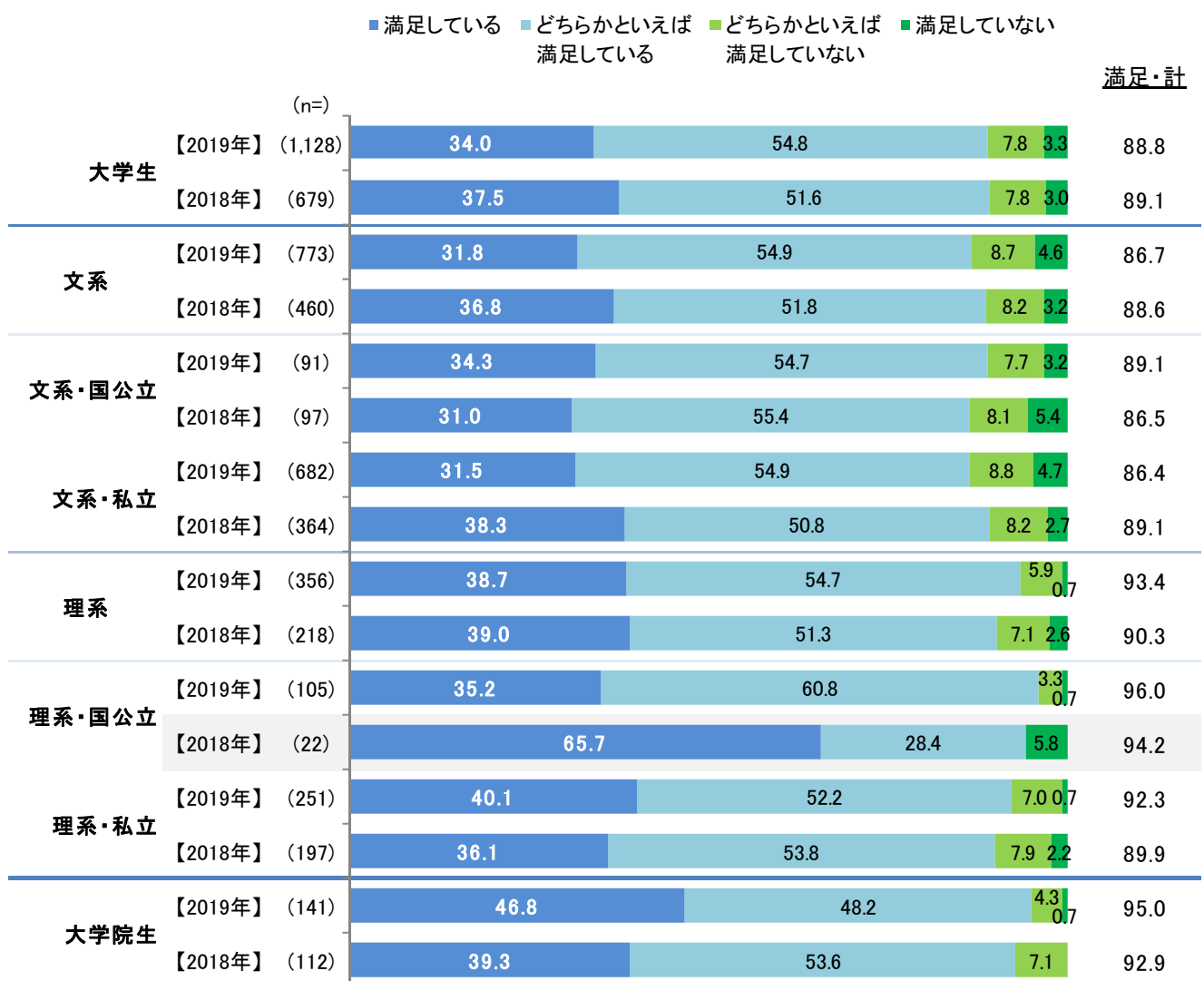
就職先確定者の就職先への満足度は、大学生で約9割、大学院生で9割半ばで、引き続き高い水準。文系大学生よりも理系大学生の満足度が高い。

就職確定者の就職先への満足・計(*)は、大学生が約9割、大学院生が9割半ばとなっている。属性別にみると、文系大学生よりも理系大学生の満足・計が高く、国公立大学の理系大学生の満足・計が高い。

2018年調査と比べると、国公立大学の文系大学生、私立大学の理系大学生で満足・計が上昇している一方で、私立大学の文系大学生では満足・計が若干低下している。また、大学院生で「満足している」の割合が上昇している。(図表2)

*「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答者を合計

図表2 就職確定者の就職予定先への満足度状況(単一回答、単位=%)



※満足・計:「満足している」+「どちらかといえば満足している」

* 回答者数が30未満はグレーの網掛けにした。

②就職予定先への満足度、評価

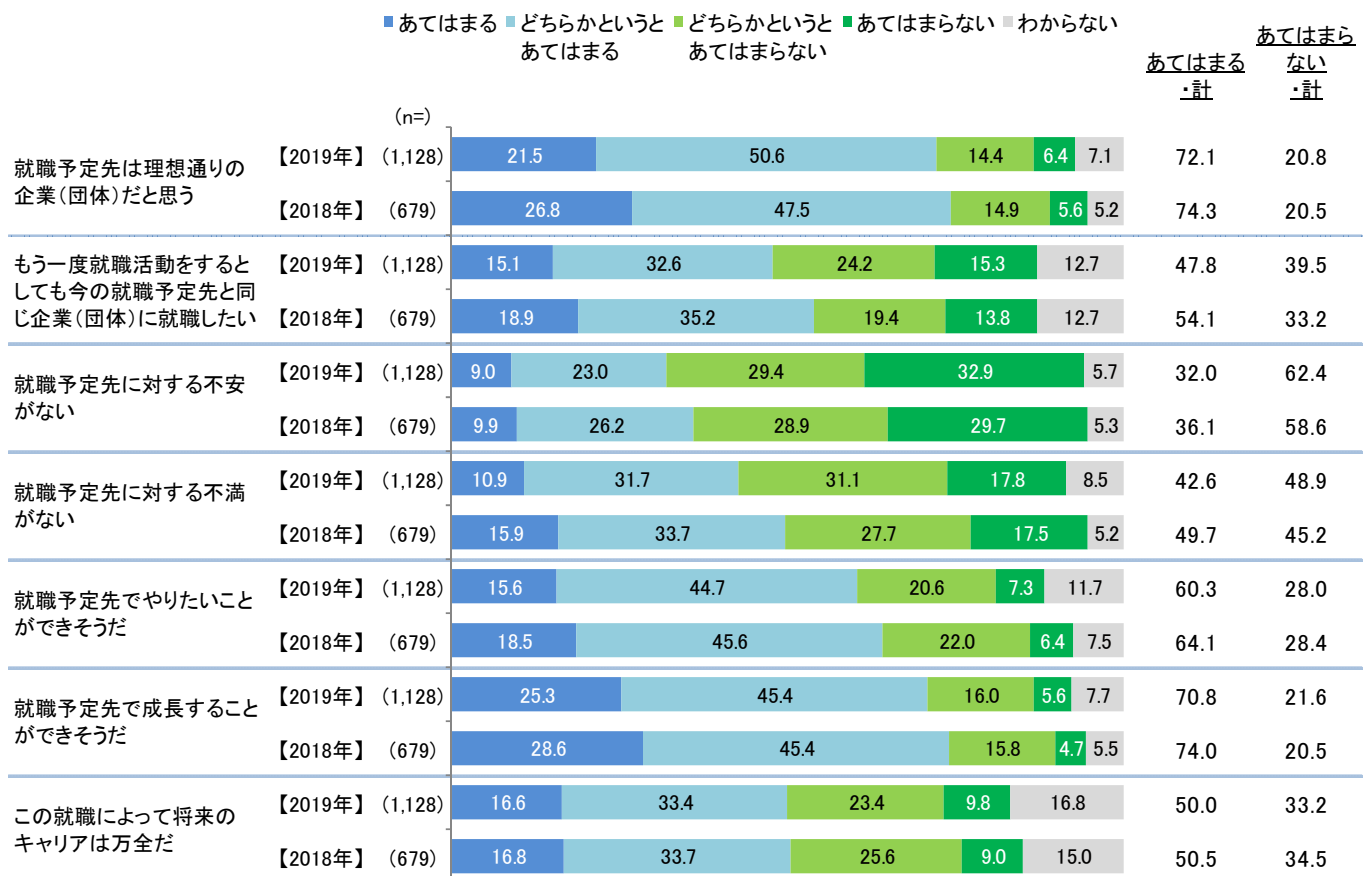
就職予定先の評価は、大学生で「理想通りの企業だと思う」「成長することができそうだ」が7割。大学生よりも大学院生で就職先への評価が高い。

就職確定者における就職予定先への評価(*)は、大学生は「就職予定先は理想通りの企業だと思う」「就職予定先で成長することができそうだ」は7割、「就職予定先に対する不安がない」は3割強となっている。また、大学生よりも大学院生で「就職予定先は理想通りの企業だと思う」「就職予定先で成長することができそうだ」の割合が高く、大学院生のほうが就職先に対する評価が高い。

2018年調査と比べると、大学生では「就職予定先に対する不満がない」「就職予定先に対する不安がない」が減少している。また、大学院生では「就職予定先は理想通りの企業だと思う」「就職予定先でやりたいことができそうだ」「就職予定先で成長することができそうだ」が増加している。(図表3-1～2)

*「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の回答者を合計

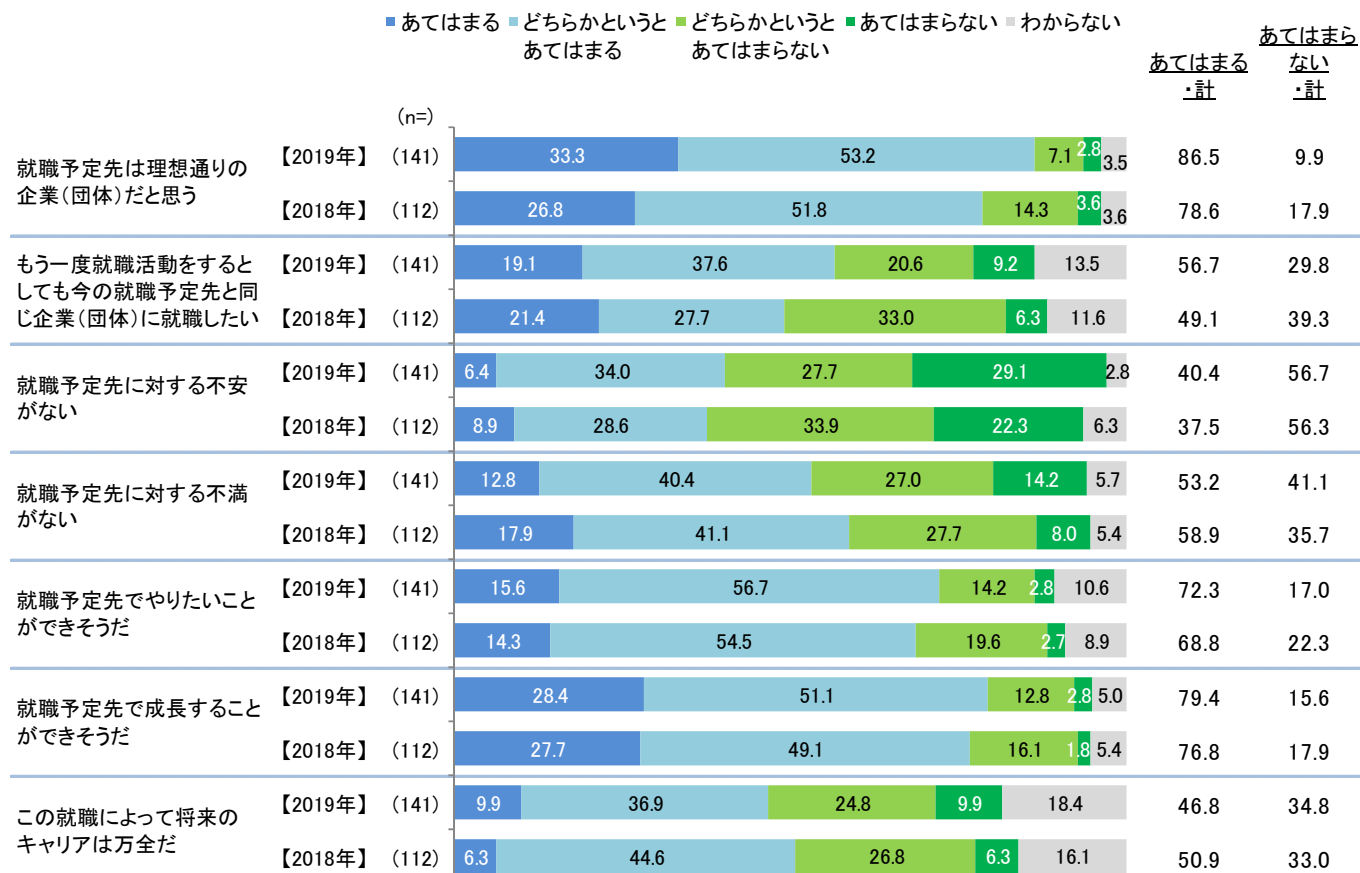
図表3-1 【大学生】就職確定者の就職予定先への評価(単一回答、単位=%)



※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」/あてはまらない・計:「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」

②就職予定先への満足度、評価

図表3-2 【大学院生】就職確定者の就職予定先への評価(単一回答、単位=%)



※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」/あてはまらない・計:「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」

③就職予定先の企業状況

大学生は「製造業」「情報通信業」「卸売業、小売業」、大学院生は「製造業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」が上位。

就職確定者における就職予定先の業種は、大学生は「製造業」「情報通信業」「卸売業、小売業」、大学院生は「製造業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」が上位。属性別にみると、国公立大学の文系大学生で「金融業、保険業」、国公立大学の理系大学生、関東地域の大学生で「情報通信業」の割合が高い。

図表4 就職確定者の就職予定先の業種(単一回答、単位=%)

	n=	農業、林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業
大学生	1,128	1.3 (0.6)	0.2 (0.2)	0.2 (0.2)	4.9 (-0.1)	12.1 (-3.5)	1.8 (-1.3)	12.1 (-1.0)	5.6 (0.8)	11.7 (-1.2)	7.5 (-1.5)	3.4 (0.5)
文系	773	0.7 (-0.1)	- (-)	0.3 (0.3)	2.4 (-0.5)	10.1 (-3.5)	0.7 (-0.6)	9.2 (-2.6)	7.3 (1.0)	14.8 (2.1)	10.1 (-2.1)	4.0 (-0.0)
国公立	91	0.4 (-1.3)	- (-)	1.3 (1.3)	0.4 (-0.6)	14.7 (-6.4)	2.1 (0.9)	13.5 (8.9)	4.3 (-0.8)	8.1 (-1.6)	15.1 (2.4)	3.0 (-2.4)
私立	682	0.8 (0.2)	- (-)	0.1 (0.1)	2.7 (-0.7)	9.5 (-2.1)	0.5 (-0.8)	8.7 (-5.1)	7.7 (1.1)	15.7 (2.2)	9.4 (-2.6)	4.1 (0.5)
理系	356	2.6 (2.0)	0.6 (0.6)	- (-)	10.2 (0.9)	16.3 (-3.3)	4.1 (-2.7)	18.2 (2.5)	1.9 (0.2)	5.0 (-8.3)	1.8 (-0.5)	2.0 (1.4)
国公立	105	2.0 (2.0)	2.0 (2.0)	- (-)	6.7 (6.7)	19.5 (-14.6)	3.9 (-4.6)	27.2 (21.4)	2.0 (2.0)	3.3 (0.4)	2.6 (-8.8)	0.7 (0.7)
私立	251	2.9 (2.2)	- (-)	- (-)	11.7 (1.3)	14.9 (-3.1)	4.2 (-2.4)	14.4 (-2.4)	1.9 (0.0)	5.7 (-8.8)	1.5 (0.2)	2.6 (1.9)
関東	438	0.6 (0.2)	- (-)	0.3 (0.3)	3.8 (-1.6)	7.6 (-5.6)	2.3 (-1.0)	16.9 (-0.9)	5.5 (0.0)	9.5 (-2.1)	6.7 (-3.1)	4.2 (0.4)
中部	208	3.1 (3.1)	- (-)	- (-)	4.2 (2.0)	18.7 (-3.5)	1.0 (-2.5)	11.2 (0.2)	7.6 (1.6)	17.4 (11.0)	5.3 (0.9)	0.7 (0.1)
近畿	237	0.5 (-0.7)	- (-)	- (-)	4.5 (0.8)	17.3 (-2.0)	2.1 (-0.6)	6.3 (-0.9)	7.6 (3.8)	13.3 (3.8)	9.1 (-4.4)	4.5 (0.7)
その他	245	1.9 (-0.6)	0.8 (0.8)	0.3 (0.3)	7.6 (-1.0)	9.3 (-1.6)	1.2 (-0.9)	9.6 (4.3)	2.0 (0.1)	9.4 (-22.1)	9.0 (4.6)	2.9 (2.4)
大学院生	141	- (-)	- (-)	- (-)	3.5 (-2.7)	42.6 (-7.4)	1.4 (-1.3)	15.6 (5.8)	5.0 (5.0)	2.8 (1.1)	- (-)	1.4 (1.4)

* カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。

* 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

③就職予定先の企業状況

※前ページより続き

	n=	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	公務（他に分類されるものを除く）	NPO等団体	その他
大学生	1,128	2.4 (-0.6)	4.0 (2.2)	1.9 (0.7)	4.2 (1.0)	10.6 (2.0)	2.1 (0.1)	8.5 (2.7)	4.0 (-1.5)	0.0 (-0.3)	1.8 (0.2)
文系	773	2.4 (-0.3)	4.8 (2.6)	2.8 (1.0)	5.4 (1.8)	6.1 (1.5)	2.7 (0.2)	10.0 (1.7)	3.7 (-2.3)	0.0 (-0.4)	2.5 (0.3)
国公立	91	1.6 (-2.7)	2.3 (-0.2)	4.9 (2.5)	4.5 (1.0)	5.5 (0.1)	2.5 (0.4)	6.2 (-1.4)	6.1 (-3.0)	- (-0.5)	3.6 (3.1)
私立	682	2.5 (0.2)	5.1 (3.0)	2.5 (0.9)	5.6 (1.8)	6.2 (1.8)	2.7 (0.1)	10.6 (2.0)	3.3 (-1.8)	0.0 (-0.4)	2.3 (-0.3)
理系	356	2.5 (-1.2)	2.3 (1.4)	- (-)	1.5 (-0.8)	20.4 (3.1)	0.7 (-0.2)	5.2 (4.6)	4.6 (0.3)	- (-)	0.2 (-0.0)
国公立	105	1.4 (1.4)	2.0 (2.0)	- (-)	0.7 (0.7)	16.9 (-8.9)	- (-8.5)	2.7 (2.7)	6.5 (6.5)	- (-)	- (-2.9)
私立	251	2.9 (-1.2)	2.4 (1.5)	- (-)	1.8 (-0.7)	21.8 (5.5)	0.9 (0.9)	6.2 (5.5)	3.8 (-0.9)	- (-)	0.3 (0.3)
関東	438	4.1 (0.8)	3.9 (2.4)	2.2 (0.8)	5.2 (2.8)	8.0 (3.5)	2.3 (0.9)	8.3 (1.3)	6.5 (-0.2)	0.1 (-0.4)	2.0 (1.4)
中部	208	2.2 (0.2)	2.1 (-0.9)	0.9 (0.9)	1.3 (-4.4)	13.0 (-5.8)	1.5 (-3.2)	9.1 (5.7)	0.5 (-1.9)	- (-0.4)	- (-3.1)
近畿	237	1.6 (-0.6)	4.4 (2.6)	2.0 (0.4)	2.3 (-2.3)	8.7 (0.9)	0.9 (0.2)	9.5 (3.4)	3.3 (-3.0)	- (-)	2.0 (-2.1)
その他	245	0.3 (-4.2)	5.3 (4.2)	2.1 (1.0)	6.8 (4.9)	15.1 (0.9)	3.1 (0.2)	7.4 (3.5)	3.0 (0.5)	- (-)	2.7 (2.7)
大学院生	141	9.9 (1.0)	- (-)	- (-)	2.8 (-3.4)	5.7 (1.2)	0.7 (-0.2)	4.3 (0.7)	2.8 (-1.6)	0.7 (0.7)	0.7 (-0.2)

* カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。
 * 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。
 * 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

③就職予定先の企業状況

大学生は「300人～999人」、大学院生は「5000人以上」の割合が最も高く、大学院生のほうが従業員規模が大きい。

就職確定者における就職予定先の従業員規模は、大学生は「300人～999人」、大学院生は「5000人以上」が最も高く、大学院生のほうが従業員規模が大きい。属性別にみると、関東・中部・近畿地域の大学生は「300人～999人」、その他地域の大学生は「100人～299人」が最も多く、地域間格差がみられる。

2018年調査と比べると、大学生では「1000人～4999人」「5000人以上」が減少し、「100人未満」が増加しており、従業員規模が小さくなっている。(図表5)

図表5 就職確定者の就職予定先の従業員規模(単一回答、単位=%)

n=		100人未満	100人～299人	300人～999人	1000人～4999人	5000人以上
大学生	1,128	16.8 (8.1)	21.8 (3.7)	25.7 (1.1)	20.7 (-8.9)	15.1 (-4.0)
文系	773	19.1 (8.5)	20.8 (1.6)	25.9 (4.7)	19.9 (-9.2)	14.3 (-5.6)
国公立	91	9.8 (-0.9)	16.0 (0.2)	33.7 (12.5)	19.5 (-19.1)	21.0 (7.3)
私立	682	20.4 (9.7)	21.4 (1.4)	24.8 (3.7)	19.9 (-6.6)	13.4 (-8.2)
理系	356	11.6 (7.0)	24.1 (8.2)	25.3 (-6.7)	22.3 (-8.1)	16.7 (-0.4)
国公立	105	15.3 (15.3)	18.1 (-2.0)	26.1 (-19.3)	25.7 (-8.7)	14.8 (14.8)
私立	251	10.1 (5.0)	26.7 (11.2)	24.9 (-5.5)	20.9 (-9.1)	17.5 (-1.5)
関東	438	15.0 (9.2)	18.5 (2.2)	26.4 (-0.5)	20.0 (-9.2)	20.2 (-1.6)
中部	208	22.6 (13.3)	21.6 (4.0)	22.6 (-5.9)	21.4 (-7.6)	11.7 (-3.8)
近畿	237	14.7 (2.1)	21.2 (5.9)	28.2 (11.1)	21.6 (-15.1)	14.3 (-4.0)
その他	245	17.1 (3.4)	28.6 (-1.9)	24.7 (2.7)	20.2 (-0.2)	9.4 (-3.9)
大学院生	141	5.0 (-4.9)	12.1 (-1.3)	22.0 (8.6)	26.2 (-5.9)	34.8 (3.5)

* カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。

* 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

③就職予定先の企業状況

大学生・大学院生ともに「総合職」がトップ。大学生で「総合職」が減少し、「一般職」「職務限定職」が増加しており、理系大学生でその傾向が顕著。

就職確定者における就職予定先の採用・コースは、大学生・大学院生ともに「総合職」が最も高い。属性別にみると、大学生の文理別、エリア別のいずれも「総合職」が最も高い。

2018年調査と比べると、大学生で「総合職」が減少し、「一般職」「職務限定職」の割合が増加している。属性別にみると、理系大学生で「総合職」が減少している。(図表6)

図表6 就職確定者の就職予定先で応募した採用・コース(単一回答、単位=%)

n=		総合職	一般職	地域限定職	職務限定職	その他の採用 または職種・ コース	採用または 職種・コース等 の定めがない
大学生	1,128	51.1 (-10.3)	21.5 (6.6)	4.4 (1.0)	6.9 (2.2)	7.1 (1.9)	9.0 (-1.5)
文系	773	54.3 (-8.3)	22.0 (5.8)	5.8 (1.8)	4.5 (1.4)	5.1 (0.8)	8.4 (-1.4)
国公立	91	66.6 (-3.0)	15.9 (-0.2)	3.5 (0.1)	2.7 (-0.5)	4.5 (1.3)	6.8 (2.2)
私立	682	52.6 (-8.1)	22.8 (6.5)	6.1 (1.9)	4.8 (1.6)	5.2 (0.6)	8.6 (-2.5)
理系	356	44.3 (-14.6)	20.6 (8.4)	1.4 (-0.6)	11.9 (4.1)	11.4 (4.2)	10.4 (-1.6)
国公立	105	45.2 (-14.6)	16.5 (5.1)	2.8 (2.8)	13.4 (10.5)	11.7 (0.2)	10.4 (-4.0)
私立	251	43.9 (-14.9)	22.4 (10.0)	0.8 (-1.4)	11.3 (3.0)	11.3 (4.6)	10.4 (-1.3)
関東	438	52.9 (-14.4)	19.4 (4.4)	2.9 (0.3)	7.2 (5.4)	9.0 (4.4)	8.6 (-0.1)
中部	208	46.2 (-13.0)	30.4 (13.6)	2.7 (-0.1)	6.8 (1.5)	5.5 (-3.3)	8.3 (1.3)
近畿	237	53.7 (-8.1)	16.1 (5.3)	7.5 (6.6)	7.8 (0.9)	6.4 (1.5)	8.4 (-6.3)
その他	245	49.6 (10.0)	23.1 (4.4)	5.5 (-5.2)	5.3 (-6.4)	5.6 (1.8)	11.0 (-4.6)
大学院生	141	68.8 (4.5)	7.8 (-1.1)	- (-)	9.2 (-5.1)	7.1 (0.8)	7.1 (0.8)

- * カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。
- * 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
- * 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

③就職予定先の企業状況

大学生・大学院生ともに「当初から第1志望(群)だった」がトップ。大学院生で「当初から第1志望(群)だった」の割合が増加。

就職確定者における就職予定先の当初の志望状況は、大学生・大学院生ともに「当初から第1志望(群)だった」が最も高いが、大学院生のほうが高い。属性別にみると、国公立大学の文系大学生で「第1志望(群)ではないが、当初から志望していた」が最も高い。

図表7 就職確定者の就職活動を開始した当初の就職予定先の志望状況(単一回答、単位=%)

n=		当初から第1志望(群)だった	第1志望(群)ではないが、当初から志望していた	当初はまったく志望していなかった
大学生	1,128	40.4 (-4.5)	29.7 (-0.1)	30.0 (4.7)
文系	773	37.0 (-3.8)	30.9 (1.8)	32.1 (1.9)
国公立	91	36.5 (-4.1)	38.7 (10.6)	24.8 (-6.5)
私立	682	37.1 (-3.7)	29.9 (0.5)	33.0 (3.2)
理系	356	47.7 (-5.9)	26.9 (-4.4)	25.4 (10.3)
国公立	105	48.6 (-25.7)	27.5 (13.2)	23.9 (12.5)
私立	251	47.3 (-4.0)	26.7 (-6.5)	26.1 (10.5)
関東	438	41.6 (-4.0)	28.3 (-0.5)	30.1 (4.5)
中部	208	40.7 (-2.6)	28.7 (-6.4)	30.6 (9.0)
近畿	237	39.1 (-6.1)	30.1 (2.1)	30.8 (4.1)
その他	245	39.2 (-4.3)	32.5 (2.2)	28.3 (2.1)
大学院生	141	61.0 (15.5)	22.0 (-7.5)	17.0 (-8.0)

- * カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。
- * 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
- * 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

④就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

**就職活動に関する情報収集の開始時期は、「大学3年/大学院1年の6～9月頃」が最も高い。
終了時期は「大学4年/大学院2年の6月頃」がピークも、大学院生で終了時期が前年より早まる。**

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期は、大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の6～9月頃」が最も高い。

プレエントリー、企業説明会の開始時期は、いずれの属性でも「大学3年/大学院1年の3月頃」が最も高い。(図表8)

図表8 就職活動の開始時期(単一回答、単位=%)

		大学3年/大学院1年						大学4年/大学院2年			
n=		5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降	
就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集	大学生	1,237	13.9 (-1.5)	25.0 (0.7)	13.6 (-1.7)	8.1 (0.7)	16.3 (-1.3)	11.8 (1.8)	7.1 (2.4)	1.4 (-0.6)	2.8 (-0.5)
	文系	825	12.3 (-2.7)	24.7 (-0.1)	13.7 (-1.1)	9.0 (1.6)	16.0 (-2.5)	13.7 (4.0)	7.3 (1.7)	0.8 (-0.9)	2.4 (0.0)
	国公立	94	11.6 (-4.2)	29.6 (3.4)	17.4 (5.7)	13.5 (6.8)	13.6 (-6.2)	8.1 (-0.6)	4.5 (-0.7)	0.3 (-3.4)	1.4 (-0.7)
	私立	731	12.4 (-2.4)	24.1 (-0.4)	13.3 (-2.4)	8.4 (0.8)	16.3 (-1.8)	14.4 (4.5)	7.7 (2.0)	0.9 (-0.3)	2.5 (0.1)
	理系	412	17.0 (0.8)	25.7 (2.4)	13.2 (-3.0)	6.4 (-1.0)	16.8 (1.1)	8.0 (-2.5)	6.7 (3.7)	2.7 (0.1)	3.6 (-1.7)
	国公立	130	10.9 (-17.3)	31.9 (19.1)	12.3 (-3.0)	5.4 (-4.9)	14.1 (-6.5)	9.6 (9.6)	6.4 (3.8)	3.7 (3.7)	5.8 (-4.5)
	私立	281	19.8 (5.0)	22.8 (-1.7)	13.7 (-2.6)	6.9 (-0.2)	18.1 (3.0)	7.3 (-4.4)	6.8 (3.8)	2.2 (-0.7)	2.5 (-2.1)
	大学院生	145	15.9 (-6.0)	33.1 (18.6)	10.3 (-6.0)	8.3 (-4.5)	19.3 (0.2)	7.6 (-3.3)	2.1 (1.2)	0.7 (-1.1)	2.8 (0.9)
プレエントリー	大学生	1,214	4.1 (-1.8)	11.6 (2.5)	7.4 (0.1)	5.2 (1.1)	17.0 (-0.2)	36.4 (-2.5)	11.2 (1.3)	2.7 (0.1)	4.3 (-0.7)
	文系	822	3.8 (-0.9)	11.8 (3.2)	7.1 (-1.2)	3.4 (-1.3)	17.3 (-0.1)	37.4 (-3.0)	11.8 (2.0)	2.4 (0.1)	5.2 (1.2)
	国公立	98	2.2 (-0.6)	11.5 (5.1)	7.5 (-6.7)	2.2 (-2.4)	18.1 (3.1)	43.1 (7.6)	12.0 (-0.6)	0.3 (-3.9)	3.1 (-1.6)
	私立	724	4.0 (-1.2)	11.8 (2.7)	7.0 (0.3)	3.5 (-1.2)	17.1 (-0.9)	36.6 (-5.0)	11.7 (2.6)	2.7 (0.9)	5.5 (1.7)
	理系	393	4.9 (-3.7)	11.2 (1.1)	8.0 (2.9)	9.1 (6.1)	16.5 (-0.4)	34.5 (-1.3)	9.9 (-0.0)	3.5 (0.0)	2.5 (-4.7)
	国公立	122	2.3 (2.3)	10.3 (0.1)	11.6 (4.0)	8.5 (8.5)	19.7 (-3.5)	28.6 (0.5)	11.0 (8.4)	6.2 (-11.7)	1.7 (-8.6)
	私立	271	6.1 (-3.5)	11.6 (1.5)	6.3 (1.5)	9.3 (6.0)	15.1 (-1.1)	37.2 (0.4)	9.4 (-1.4)	2.2 (0.4)	2.8 (-4.0)
	大学院生	148	2.7 (-4.2)	9.5 (3.4)	10.8 (4.8)	2.7 (-4.2)	16.2 (-1.0)	45.9 (-0.6)	7.4 (2.3)	1.4 (0.5)	3.4 (-0.9)

* カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。
* 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

④就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

※前ページより続き n=			大学3年／大学院1年					大学4年／大学院2年			
			5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降
企業説明会	大学生	1,263	4.7 (-0.7)	11.0 (1.9)	7.6 (1.4)	5.9 (1.4)	16.2 (-1.2)	31.0 (-5.6)	15.4 (4.9)	3.3 (-2.1)	4.8 (-0.1)
	文系	840	4.2 (-1.0)	11.6 (1.7)	7.4 (1.2)	4.5 (-1.6)	15.7 (-1.2)	31.2 (-3.8)	16.7 (4.5)	3.6 (-0.8)	5.1 (1.0)
	国公立	98	3.2 (0.4)	13.0 (1.8)	6.2 (-0.0)	7.0 (2.9)	13.0 (-5.1)	37.8 (-1.3)	15.1 (3.9)	1.0 (-1.2)	3.8 (-1.4)
	私立	743	4.3 (-1.5)	11.5 (1.8)	7.6 (1.4)	4.2 (-2.4)	16.1 (-0.5)	30.3 (-3.6)	16.9 (4.4)	3.9 (-1.0)	5.3 (1.4)
	理系	422	5.8 (-0.1)	9.8 (2.3)	8.0 (1.8)	8.6 (7.3)	17.1 (-1.2)	30.6 (-9.3)	13.0 (6.0)	2.9 (-4.8)	4.3 (-2.2)
	国公立	135	7.8 (7.8)	6.3 (-1.6)	13.3 (5.5)	8.7 (8.7)	18.8 (-5.0)	23.8 (-5.1)	13.6 (10.9)	3.1 (-15.3)	4.6 (-5.9)
	私立	287	4.9 (-1.7)	11.4 (4.0)	5.5 (-0.5)	8.6 (7.2)	16.3 (-1.3)	33.7 (-7.3)	12.7 (5.3)	2.8 (-3.8)	4.1 (-1.9)
	大学院生	148	4.1 (-2.6)	12.8 (3.7)	10.1 (4.3)	2.7 (-2.3)	11.5 (-6.0)	48.0 (5.5)	6.8 (0.1)	1.4 (-2.0)	2.7 (-0.6)

* カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。
 * 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
 * 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

④就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の終了時期は、大学生・大学院生ともに「大学4年/大学院2年の6月頃」がピークとなっている。属性別にみると、私立大学の文系大学生で「大学4年/大学院2年の10～3月頃」の割合が若干高い。

2018年調査と比べると、大学生は同じ傾向であるが、大学院生で「大学4年の6月頃」までに就職活動を終了した割合が合計で10ポイント以上増加しており、前年から終了時期が早くなっている。(図表9)

図表9 就職活動の終了時期(単一回答、単位=%)

	n=	大学3年/ 大学院1年 の3月以前	大学4年/大学院2年							活動継続中
			4月頃	5月頃	6月頃	7月頃	8月頃	9月頃	10～3月頃	
大学生	1,311	7.5 (-0.3)	5.2 (0.3)	9.9 (0.9)	21.5 (-4.2)	12.1 (0.8)	10.1 (-0.1)	5.5 (-2.0)	19.2 (3.2)	8.8 (1.5)
文系	875	6.9 (-0.4)	4.3 (-0.2)	9.1 (3.1)	22.4 (-3.9)	13.5 (0.8)	9.1 (-0.0)	6.1 (-1.6)	21.3 (2.2)	7.4 (-0.0)
国公立	103	7.5 (-1.4)	4.6 (-0.1)	10.6 (4.3)	31.5 (8.3)	6.4 (-7.8)	13.6 (4.3)	5.4 (-0.5)	14.5 (-4.6)	5.9 (-2.5)
私立	772	6.8 (-0.0)	4.3 (-0.1)	8.9 (2.9)	21.2 (-5.9)	14.4 (2.1)	8.5 (-0.6)	6.1 (-2.0)	22.1 (3.2)	7.6 (0.4)
理系	436	8.9 (-0.3)	7.1 (1.3)	11.5 (-3.5)	19.6 (-4.7)	9.4 (0.8)	12.2 (-0.5)	4.5 (-2.8)	15.2 (5.2)	11.7 (4.6)
国公立	136	8.8 (6.2)	4.6 (-5.4)	10.0 (2.5)	19.2 (-23.2)	8.7 (6.2)	14.3 (-0.8)	2.6 (-7.3)	15.2 (15.2)	16.6 (6.6)
私立	300	8.9 (-1.0)	8.2 (2.8)	12.2 (-3.7)	19.8 (-2.6)	9.6 (0.4)	11.2 (-1.2)	5.3 (-1.7)	15.2 (4.1)	9.4 (2.7)
大学院生	153	8.5 (1.3)	14.4 (6.4)	12.4 (1.2)	35.9 (4.7)	7.2 (-0.8)	7.2 (-3.2)	2.0 (-3.6)	8.5 (-3.5)	3.9 (-2.5)

* カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。
 * 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
 * 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

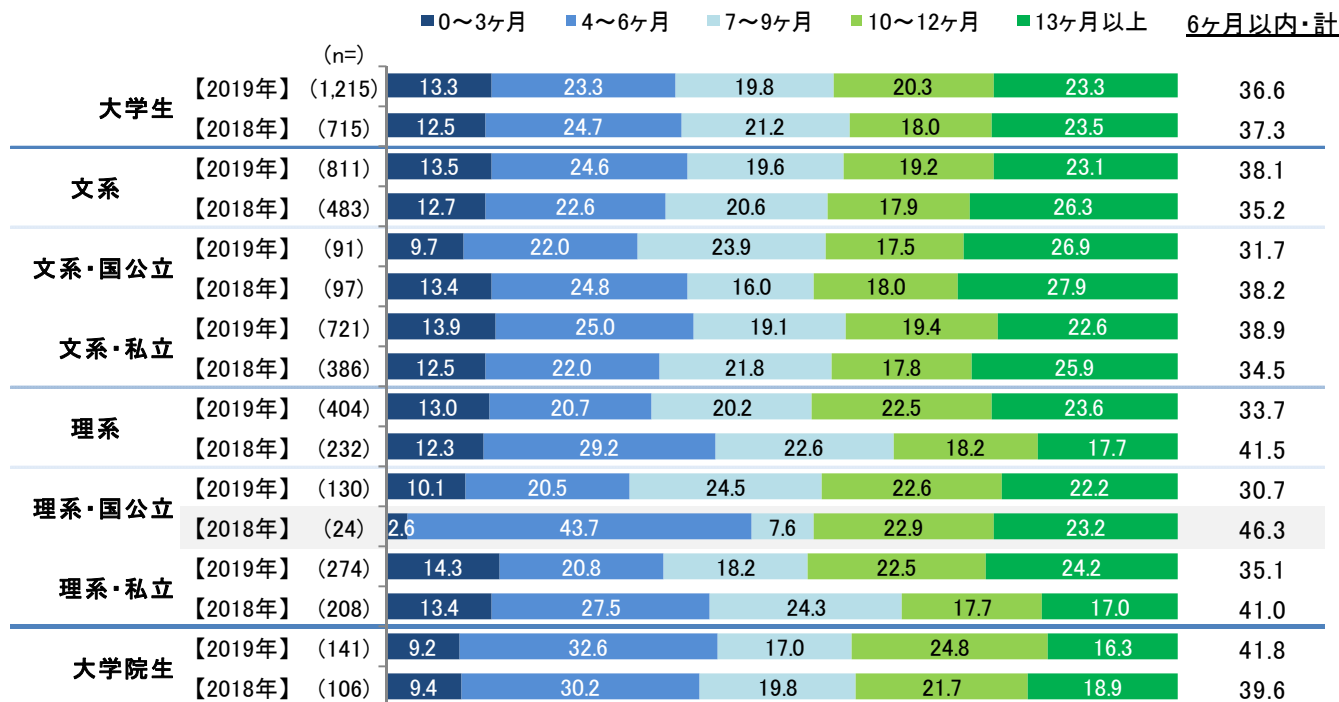
④就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、大学生は3割後半、大学院生は4割強が半年以内となっている。2018年調査と比べると、理系大学生で、半年以内の割合が減少している。(図表10)

プレエントリー、企業説明会は、大学生で「4～6ヶ月」、大学院生で「0～3ヶ月」が最も多い。面接などの対面選考は、大学生で「0～2ヶ月」「3～4ヶ月」、大学院生で「0～2ヶ月」が最も多い。2018年調査と比べると、大学院生の実施期間が短くなっている。(図表11)

図表10 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始月から就職活動の終了月。
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。



※6ヶ月以内・計:「0～3ヶ月」+「4～6ヶ月」
* 回答者数が30未満はグレーの網掛けにした。

図表11 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 各就職活動の情報収集開始月から終了月。
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。

		n=	0～3ヶ月	4～6ヶ月	7～9ヶ月	10～12ヶ月	13ヶ月以上
プレ エ ン ト リ ー	大学生	1,154	28.5 (-5.9)	31.8 (0.2)	16.7 (3.3)	12.4 (1.3)	10.6 (1.1)
	大学院生	141	49.6 (12.4)	26.2 (-6.5)	10.6 (-0.3)	7.1 (-2.9)	6.4 (-2.7)
企 業 説 明 会	大学生	1,209	29.7 (-7.3)	30.5 (0.3)	16.1 (1.9)	12.4 (2.1)	11.2 (3.0)
	大学院生	140	46.4 (10.8)	25.7 (-9.1)	11.4 (0.1)	9.3 (-0.3)	7.1 (-1.6)
		n=	0～2ヶ月	3～4ヶ月	5～6ヶ月	7～9ヶ月	10ヶ月以上
対 面 選 考 の	大学生	1,195	26.6 (-3.4)	26.6 (1.1)	16.5 (-0.6)	13.1 (1.2)	17.2 (1.7)
	大学院生	140	35.0 (6.3)	27.9 (-2.6)	15.0 (0.2)	11.4 (1.9)	10.7 (-5.8)

* カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。
* 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑤就職活動の各プロセスの活動量

大学生のプレエントリー23.4社、企業説明会参加14.5社、書類選考10.9社、面接など対面選考7.7社。大学生、大学院生ともに、プレエントリー社数が最も減少し、就職活動量の減少が進む。

各活動の対象企業・団体数の平均値は、大学生ではプレエントリー23.4社、企業説明会14.5社、書類選考10.9社、面接など対面選考7.7社、最終面接3.1社、内定取得2.2社。属性別にみると、理系大学生よりも文系大学生でプレエントリー、企業説明会、書類選考、面接など対面選考の社数が多い。

2018年調査と比較すると、大学生、大学院生ともに、プレエントリー社数が減少しており、最初から企業を絞り込んでいる傾向がみられる。

プレエントリーした企業のうち、就職活動開始前から知っていた企業は、大学生・大学院生ともに10社強となっており、大学生・大学院生で違いはみられない。(図表12)

図表12 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の平均値(数値回答、単位=社) ※0社回答を除く

	プレエントリーした	プレエントリーしたうち、就職活動開始前から知っていた	企業説明会に参加した	書類選考を受けた	面接などの対面選考を受けた	最終面接を受けた	内定(内々定)を取得した
大学生	23.4 (-6.0)	12.5 (-4.9)	14.5 (-4.0)	10.9 (-3.2)	7.7 (-1.8)	3.1 (-0.2)	2.2 (-0.1)
文系	<u>27.5</u> (-4.8)	<u>14.7</u> (-4.2)	<u>16.4</u> (-3.5)	<u>12.6</u> (-2.8)	<u>8.9</u> (-1.4)	<u>3.3</u> (-0.0)	<u>2.2</u> (-0.0)
国公立	23.5 (-4.2)	13.9 (-2.1)	15.8 (-5.7)	11.9 (-2.9)	8.1 (-3.0)	3.5 (-0.2)	2.5 (0.0)
私立	<u>28.0</u> (-5.4)	<u>14.8</u> (-4.8)	<u>16.4</u> (-3.0)	<u>12.7</u> (-2.9)	<u>9.0</u> (-1.1)	3.3 (0.1)	2.2 (-0.0)
理系	14.8 (-8.5)	7.9 (-6.5)	10.7 (-4.9)	7.5 (-3.9)	5.5 (-2.5)	2.7 (-0.6)	2.2 (-0.2)
国公立	13.9 (-4.5)	7.9 (1.0)	9.3 (-4.1)	6.6 (-2.7)	4.9 (-2.3)	2.6 (-0.2)	2.2 (0.4)
私立	15.2 (-8.6)	7.9 (-7.4)	11.4 (-4.4)	8.0 (-3.8)	5.8 (-2.3)	2.8 (-0.6)	2.2 (-0.3)
関東	<u>25.3</u> (-5.5)	<u>13.6</u> (-5.3)	15.2 (-3.5)	12.4 (-2.7)	8.9 (-1.1)	3.3 (0.1)	<u>2.4</u> (-0.1)
中部	18.9 (-9.5)	9.9 (-3.6)	12.5 (-6.0)	8.6 (-3.2)	6.0 (-2.3)	2.8 (-0.4)	2.2 (0.0)
近畿	23.9 (-8.3)	12.7 (-5.7)	<u>16.8</u> (-2.7)	<u>13.0</u> (-2.4)	<u>9.4</u> (-1.0)	<u>3.4</u> (-0.2)	2.1 (-0.2)
その他	23.6 (4.1)	12.8 (-1.3)	12.8 (-3.1)	8.3 (-2.2)	5.8 (-2.2)	2.8 (-0.5)	2.1 (0.1)
大学院生	19.4 (-9.3)	13.1 (-3.3)	14.6 (-3.0)	12.5 (-3.3)	7.8 (-1.8)	2.7 (-0.6)	2.0 (-0.2)

* カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。

* 各活動の文理別/文理×国公立別/地域別で、最も対象企業・団体数の平均値が多いスコアに下線を引いた。

* 2018年とのスコア差が5ポイント以上高いセルを薄い橙色、5ポイント以上低いセルを薄い青色で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑤就職活動の各プロセスの活動量

※回答者数(単位=人)

	プレエントリー した	プレエントリー したうち、就職 活動開始前か ら知っていた	企業説明会に 参加した	書類選考を 受けた	面接などの 対面選考を 受けた	最終面接を 受けた	内定(内々定) を取得した
大学生	1,214	1,116	1,260	1,250	1,253	1,206	1,189
文系	822	765	838	833	833	809	806
国公立	98	94	98	100	99	94	95
私立	724	672	741	733	734	715	711
理系	393	350	421	416	420	397	383
国公立	122	112	134	127	131	125	118
私立	271	238	287	289	288	272	265
関東	462	425	475	480	481	461	457
中部	231	208	239	235	232	219	216
近畿	257	242	266	260	260	255	252
その他	265	241	280	275	280	271	264
大学院生	148	138	147	150	150	149	147

⑤就職活動の各プロセスの活動量

就職活動の各プロセスの対象企業・団体数の分布を属性別にみると、プレエントリー、企業説明会は、文系大学生で「20～49社」、理系大学生で「1～4社」が最も高く、社数に開きがみられる。一方、書類選考になると、文系大学生、理系大学生ともに「1～4社」が最も高いことから、文系大学生で、この段階で企業を絞り込んでいる傾向がみられる。

2018年調査と比べると、大学生で企業説明会を受けた社数が減少しており、理系大学生でその傾向が強い。(図表13)

図表13 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の分布(数値回答、単位=%)

	n=	20社未満				20～49社	50～99社	100社以上	
		0社	1～4社	5～9社	10～19社				
プレエントリーした (資料・採用情報の請求)	大学生	1,311	7.4 (1.2)	21.1 (5.6)	13.0 (5.2)	19.4 (2.8)	26.2 (-5.1)	9.7 (-8.2)	3.3 (-1.5)
	文系	875	6.1 (1.3)	18.4 (5.6)	12.3 (5.2)	18.1 (2.6)	28.2 (-5.7)	12.3 (-7.9)	4.6 (-1.2)
	国公立	103	4.7 (-0.7)	20.3 (5.6)	8.1 (0.7)	25.4 (9.6)	28.6 (-8.5)	9.8 (-6.4)	3.2 (-0.3)
	私立	772	6.3 (1.6)	18.1 (5.8)	12.9 (5.9)	17.1 (1.7)	28.1 (-4.9)	12.7 (-8.5)	4.8 (-1.6)
	理系	436	10.0 (0.9)	26.6 (5.4)	14.2 (5.2)	22.1 (3.2)	22.2 (-3.6)	4.4 (-8.9)	0.5 (-2.1)
	国公立	136	10.6 (8.0)	30.7 (10.7)	11.7 (9.1)	20.8 (-9.2)	22.2 (-12.7)	3.5 (-3.9)	0.5 (-2.0)
	私立	300	9.7 (-0.1)	24.8 (3.5)	15.4 (5.7)	22.7 (4.9)	22.1 (-2.7)	4.8 (-9.2)	0.5 (-2.2)
	大学院生	153	3.3 (-3.9)	17.6 (11.2)	14.4 (2.4)	22.2 (0.6)	34.0 (-0.4)	7.2 (-6.4)	1.3 (-3.5)
企業説明会に参加した	大学生	1,311	3.9 (-0.3)	23.1 (5.5)	19.9 (6.9)	23.3 (1.4)	24.8 (-10.8)	4.7 (-2.5)	0.3 (-0.1)
	文系	875	4.2 (0.6)	18.9 (3.7)	18.3 (5.5)	24.0 (1.6)	28.0 (-10.0)	6.2 (-1.3)	0.4 (-0.2)
	国公立	103	4.9 (-1.8)	15.4 (-2.6)	17.5 (9.8)	26.1 (6.6)	30.0 (-6.2)	6.1 (-5.2)	- (-0.6)
	私立	772	4.1 (1.3)	19.3 (4.9)	18.4 (4.3)	23.8 (0.6)	27.7 (-10.7)	6.3 (-0.3)	0.4 (-0.1)
	理系	436	3.4 (-2.0)	31.5 (8.9)	23.0 (9.7)	21.9 (0.9)	18.5 (-12.4)	1.7 (-5.1)	- (-)
	国公立	136	1.6 (-3.5)	38.0 (18.0)	25.2 (17.7)	19.3 (-20.6)	13.9 (-11.1)	2.0 (-0.5)	- (-)
	私立	300	4.2 (-1.3)	28.6 (5.7)	22.1 (8.1)	23.0 (4.1)	20.5 (-11.0)	1.6 (-5.7)	- (-)
	大学院生	153	3.9 (-0.1)	20.3 (9.9)	21.6 (1.6)	24.2 (-3.8)	24.8 (-8.0)	4.6 (-0.2)	0.7 (0.7)

*カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。 *属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。
 *2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
 *数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑤就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き		n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
			0社	1~4社	5~9社	10~19社			
書類選考を受けた	大学生	1,311	4.7 (1.2)	33.8 (9.4)	19.7 (2.9)	22.6 (-2.6)	16.9 (-11.1)	2.3 (0.4)	0.1 (-0.2)
	文系	875	4.8 (1.1)	27.7 (8.0)	18.7 (2.1)	24.7 (0.0)	21.0 (-11.7)	3.0 (0.7)	0.1 (-0.2)
	国公立	103	2.7 (-3.5)	30.7 (5.2)	23.5 (14.0)	22.6 (-2.5)	17.5 (-14.8)	2.9 (1.6)	- (-)
	私立	772	5.0 (2.0)	27.3 (9.1)	18.1 (-0.4)	25.0 (0.4)	21.4 (-11.3)	3.0 (0.5)	0.1 (-0.3)
	理系	436	4.5 (1.3)	46.2 (12.1)	21.6 (4.7)	18.2 (-7.9)	8.6 (-9.9)	0.9 (-0.3)	- (-)
	国公立	136	6.6 (6.6)	52.3 (27.2)	19.5 (-2.8)	16.3 (-23.6)	4.7 (-7.9)	0.5 (0.5)	- (-)
	私立	300	3.6 (0.0)	43.3 (8.3)	22.6 (6.2)	19.0 (-5.5)	10.4 (-8.7)	1.0 (-0.3)	- (-)
	大学院生	153	2.0 (1.2)	29.4 (9.4)	23.5 (4.3)	21.6 (-7.2)	19.0 (-5.0)	4.6 (-2.6)	- (-)
面接などの対面選考を受けた	大学生	1,311	4.4 (0.9)	40.6 (9.3)	24.6 (3.5)	21.2 (-8.6)	8.9 (-4.7)	0.2 (-0.5)	0.1 (0.1)
	文系	875	4.8 (2.3)	34.1 (6.2)	24.7 (1.6)	24.5 (-5.6)	11.5 (-3.9)	0.3 (-0.8)	0.1 (0.1)
	国公立	103	3.5 (0.5)	36.1 (7.1)	29.3 (12.9)	23.2 (-11.9)	8.1 (-6.4)	- (-2.1)	- (-)
	私立	772	5.0 (2.6)	33.8 (6.3)	24.1 (-0.7)	24.7 (-4.2)	11.9 (-3.7)	0.3 (-0.4)	0.1 (0.1)
	理系	436	3.7 (-1.9)	53.8 (15.3)	24.2 (7.4)	14.5 (-14.7)	3.8 (-6.2)	- (-)	- (-)
	国公立	136	3.5 (3.5)	59.6 (27.0)	23.6 (3.6)	9.7 (-37.8)	3.6 (3.6)	- (-)	- (-)
	私立	300	3.8 (-2.4)	51.2 (12.1)	24.5 (8.1)	16.6 (-10.6)	3.9 (-7.2)	- (-)	- (-)
	大学院生	153	2.0 (-1.2)	41.8 (13.8)	24.2 (-3.8)	22.2 (-3.4)	9.2 (-5.2)	0.7 (-0.1)	- (-)

- * カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。
- * 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。
- * 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑤就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き		n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
			0社	1~4社	5~9社	10~19社			
最終面接を受けた	大学生	1,311	8.0 (2.0)	71.7 (2.1)	16.7 (-3.8)	3.4 (0.4)	0.3 (-0.7)	- (-)	- (-)
	文系	875	7.5 (2.5)	69.4 (-1.1)	18.5 (-1.9)	4.2 (0.8)	0.4 (-0.3)	- (-)	- (-)
	国公立	103	8.1 (2.1)	70.7 (5.7)	15.8 (-4.6)	5.4 (-1.6)	- (-1.5)	- (-)	- (-)
	私立	772	7.4 (2.7)	69.2 (-2.7)	18.9 (-1.5)	4.1 (1.6)	0.5 (-0.0)	- (-)	- (-)
	理系	436	9.0 (1.0)	76.3 (8.6)	13.0 (-7.7)	1.7 (-0.4)	- (-1.5)	- (-)	- (-)
	国公立	136	8.1 (8.1)	77.5 (0.0)	13.9 (-8.6)	0.5 (0.5)	- (-)	- (-)	- (-)
	私立	300	9.4 (0.5)	75.8 (9.2)	12.5 (-8.0)	2.3 (-0.1)	- (-1.6)	- (-)	- (-)
大学院生	153	2.6 (-3.0)	83.0 (11.0)	12.4 (-3.6)	2.0 (-4.4)	- (-)	- (-)	- (-)	

		n=	0社	1社	2社	3社	4社	5社以上
内定（内々定）を取得した	大学生	1,311	8.7 (0.1)	34.6 (0.4)	25.5 (2.7)	16.9 (-0.4)	8.7 (-1.5)	5.7 (-1.3)
	文系	875	7.2 (-1.0)	32.9 (-1.8)	28.1 (5.3)	17.8 (-2.3)	8.6 (0.5)	5.5 (-0.7)
	国公立	103	4.9 (-3.7)	28.3 (-8.7)	29.2 (6.4)	18.5 (2.0)	11.3 (7.1)	7.8 (-3.1)
	私立	772	7.5 (-0.6)	33.5 (-0.6)	27.9 (5.2)	17.7 (-3.4)	8.2 (-0.8)	5.2 (0.2)
	理系	436	11.7 (2.5)	37.8 (4.9)	20.2 (-2.7)	15.3 (3.6)	8.9 (-5.6)	6.1 (-2.7)
	国公立	136	13.6 (1.0)	34.1 (-13.3)	24.5 (-3.0)	12.7 (10.1)	11.5 (4.0)	3.6 (1.1)
	私立	300	10.9 (2.0)	39.5 (8.2)	18.2 (-4.2)	16.4 (3.8)	7.8 (-7.6)	7.2 (-2.2)
大学院生	153	3.9 (-2.5)	45.1 (8.3)	26.8 (-0.4)	13.1 (-5.3)	7.2 (3.2)	3.9 (-3.3)	

*カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。
 * 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
 * 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑥ 知りたかった情報、知ることができた情報

大学生が「プレエントリー」の対象を選ぶ時に知りたかった情報は「仕事内容」「勤務地」「経営理念」が上位。「就職先」を選ぶ時は「事業の安定性・将来性」が上位。

大学生が知りたかった情報は、「プレエントリー」の対象を選ぶ時は、「具体的な仕事内容」「勤務地」「経営理念・ビジョン」、[就職先]の対象を選ぶ時は、「具体的な仕事内容」「勤務地」「事業の安定性・将来性」が上位。これらの情報を知ることができたのは、3～4割となっている。

大学院生は、「プレエントリー」[就職先]の対象を選ぶ時に、「事業内容や商品・サービスの特性」を知りたい傾向が強く、4割半ばが知ることができたと回答している。

2018年調査と比べると、大学生で、「プレエントリー」の対象を選ぶ時、「有給休暇日数と取得状況」「若手社員の仕事の様子」、[就職先]の対象を選ぶ時、「選考中に提出が必要な書類」「内定までの選考プロセス」が増加している。(図表14)

図表14 就職活動の段階別に知りたかった情報、知ることができた情報(複数回答、単位=%)

	大学生(n=1,311)			大学院生(n=153)		
	知りたかった情報		知ることができた情報	知りたかった情報		知ることができた情報
	プレエントリーをする際	就職先を選ぶ際		プレエントリーをする際	就職先を選ぶ際	
経営理念・ビジョン	48.5 (-1.4)	40.7 (5.0)	47.9	47.7 (2.1)	45.8 (7.4)	54.2
社会貢献活動や環境問題への取り組み状況	19.6 (-1.4)	19.2 (4.6)	17.0	16.3 (-9.3)	15.0 (-1.0)	17.0
事業の安定性・将来性	47.6 (-2.0)	44.4 (2.9)	32.8	51.0 (-7.4)	47.7 (-1.1)	35.3
事業内容や商品・サービスの特性	42.2 (-0.3)	34.9 (5.9)	33.9	53.6 (-0.0)	48.4 (16.4)	44.4
具体的な仕事内容	54.6 (0.7)	51.9 (6.4)	43.4	66.7 (-2.9)	60.8 (4.0)	47.1
若手社員の仕事の様子	40.2 (10.7)	37.2 (11.8)	24.1	40.5 (-0.3)	41.2 (8.4)	26.8
組織風土	34.2 (0.9)	32.1 (1.5)	19.9	42.5 (-3.1)	41.8 (0.2)	30.1
従業員構成の男女比・内訳	23.8 (2.4)	21.0 (8.7)	19.4	17.0 (-6.2)	12.4 (-1.2)	19.6
従業員構成の年齢別の内訳	18.2 (-0.5)	17.7 (5.5)	15.9	13.7 (-5.5)	10.5 (-5.5)	13.1
女性役員の比率	13.5	12.4	12.5	8.5	9.2	8.5
職場の人間関係・雰囲気	36.0 (0.8)	38.5 (-0.6)	22.5	40.5 (-3.5)	41.8 (-5.4)	28.8
勤務地	50.3 (4.5)	47.4 (5.2)	44.3	61.4 (4.6)	58.2 (7.0)	52.9
採用時の具体的給与・賞与額	39.9 (4.3)	40.7 (4.9)	28.4	40.5 (-10.7)	39.9 (-6.5)	34.6
将来の給与の見通し	30.4 (4.6)	33.2 (4.9)	13.0	35.3 (-4.7)	38.6 (-1.4)	20.9
有給休暇日数と取得状況	38.7 (11.0)	39.8 (10.9)	25.3	41.2 (17.2)	41.2 (18.0)	30.1

* カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。(スコア差の記載が無い項目は2019年より聴取。)

* 項目ごとに選択率が上位の3項目を■で網掛け太字にした。

⑥ 知りたかった情報、知ることができた情報

※前ページより続き	大学生 (n=1,311)			大学院生 (n=153)		
	知りたかった情報		知ることが できた情報	知りたかった情報		知ることが できた情報
	プレエントリー をする際	就職先を 選ぶ際		プレエントリー をする際	就職先を 選ぶ際	
所定外労働時間	32.4	33.4	18.5	34.0	36.6	20.3
人事評価制度 ※1	16.6 (3.4)	18.1 (2.8)	9.1	23.5 (9.1)	25.5 (1.5)	13.7
教育研修制度 ※2	24.3 (9.6)	26.2 (8.7)	21.0	29.4 (9.4)	30.7 (1.9)	24.2
メンター制度の有無や内容	9.9	10.1	8.3	9.8	10.5	8.5
キャリアコンサルティング制度の有無や内容	6.7	6.1	3.6	5.9	8.5	7.8
社内検定制度の有無や内容	8.1	10.2	6.9	11.8	11.1	9.8
出産・育児休暇の取得状況	18.8	19.4	16.9	14.4	17.6	20.9
新卒者の定着状況	24.4 (4.5)	24.7 (5.9)	16.9	20.3 (-4.5)	20.3 (1.9)	22.9
新卒者の採用人数	27.2 (0.9)	25.4 (10.8)	23.9	28.1 (2.5)	28.1 (16.9)	31.4
採用選考の応募資格(学校種別、専攻分野)	19.4 (-1.6)	15.6 (6.3)	16.8	26.8 (3.6)	22.9 (13.3)	26.1
採用実績校	18.2 (0.5)	14.9 (6.7)	15.8	18.3 (0.7)	15.7 (8.5)	17.6
求める人物像・採用選考の基準	31.3 (3.7)	29.2 (16.0)	25.9	43.8 (6.2)	41.8 (21.0)	38.6
選考中に提出が必要な書類	35.0 (4.9)	31.7 (22.1)	32.2	38.6 (0.2)	35.9 (20.7)	38.6
内定までの選考プロセス	40.1 (2.1)	35.5 (20.7)	38.2	48.4 (4.4)	43.8 (28.6)	45.8
その他	0.7 (0.3)	0.2 (-0.3)	0.2	0.7 (0.7)	- (-)	-

※1: 前回調査では「人事評価制度と運用状況」として聴取 ※2: 前回調査では「教育研修制度と運用状況」として聴取

* カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。(スコア差の記載が無い項目は2019年より聴取。)

* 項目ごとに選択率が上位の3項目を■で網掛け太字にした。

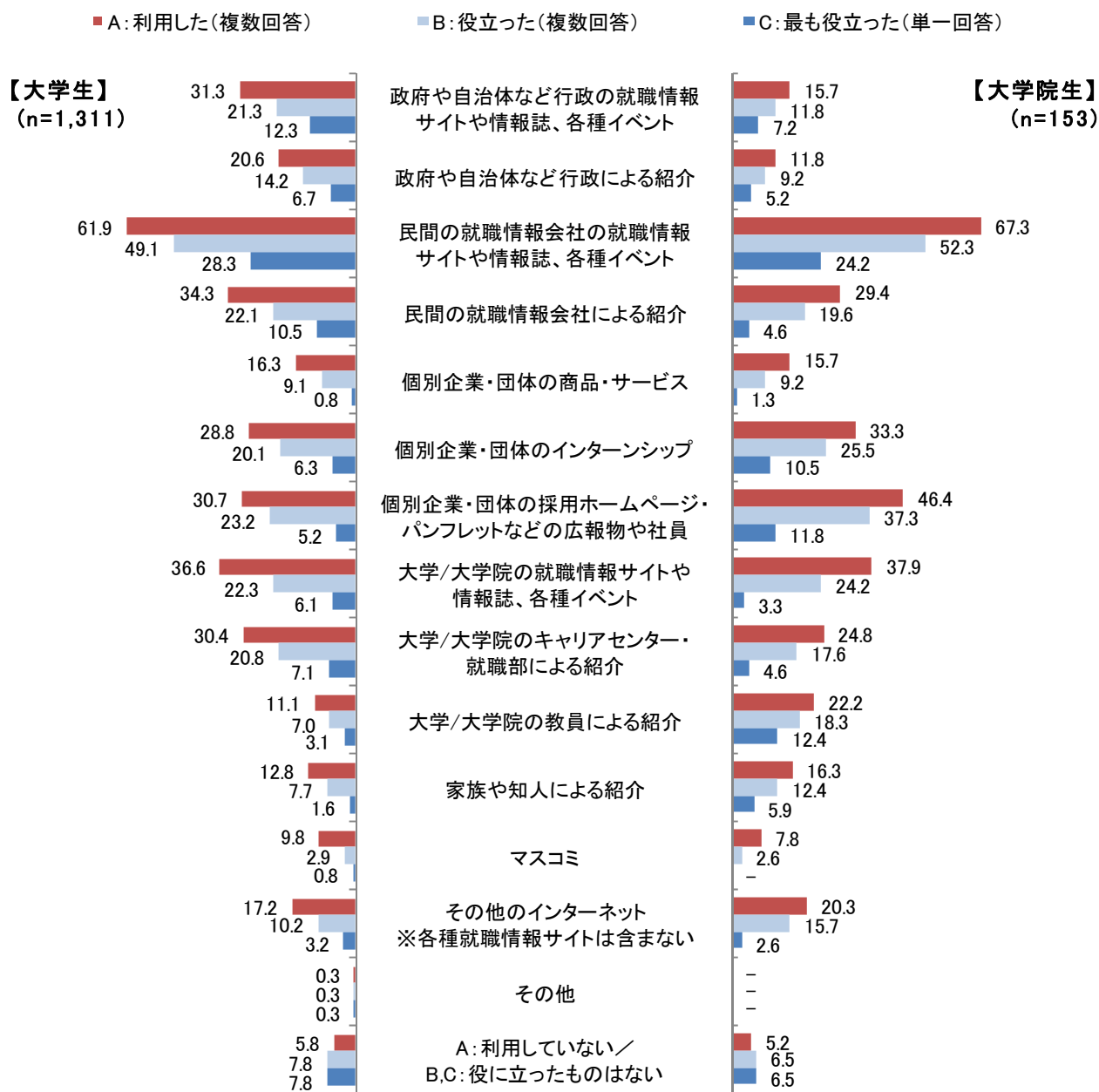
⑦就職予定先に関する情報源

企業・団体等を選ぶときの情報源は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌」がトップ。大学生で「政府や自治体など行政の就職情報」も利用。

企業・団体等を選ぶときの情報源は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」がトップで、「大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」「個別企業・団体の採用ホームページ・パンフレットなどの広報物や社員」「民間の就職情報会社による紹介」などが上位となっている。

大学生で「政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」、大学院生で「個別企業・団体のインターンシップ」「大学院の教員による紹介」などの割合が高い。(図表15)

図表15 就職活動を通して、企業・団体等を選ぶ時の情報源(単位=%)



⑦就職予定先に関する情報源

就職先の最初の認知経路は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」がトップとなっている。属性別にみると、文系大学生で「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」に集中している一方で、理系大学生では「大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」からの認知も高い。(図表16)

図表16 就職先の最初の認知経路(複数回答、単位=%)

	n=	政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	政府や自治体など行政による紹介	民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	民間の就職情報会社による紹介	就職予定先企業・団体の商品・サービス	就職予定先企業・団体のインターシップ	就職予定先企業・団体の採用HP・パンフレットなどの広報物や社員	大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント
大学生	1,128	10.9 (-0.4)	6.2 (1.8)	40.6 (-1.0)	16.4 (2.3)	6.8 (0.3)	8.8 (-0.8)	10.9 (-5.2)	18.3 (-0.7)
文系	773	10.6 (1.4)	6.3 (1.7)	43.9 (3.0)	17.7 (1.9)	7.1 (0.7)	7.6 (-1.3)	10.3 (-4.1)	15.3 (-0.5)
国公立	91	13.3 (2.1)	7.9 (2.5)	50.8 (5.9)	16.2 (2.6)	11.2 (4.0)	12.8 (0.5)	16.5 (0.5)	14.5 (-6.7)
私立	682	10.3 (1.5)	6.1 (1.7)	43.0 (3.1)	17.9 (1.5)	6.6 (0.3)	6.9 (-1.2)	9.4 (-4.5)	15.4 (1.0)
理系	356	11.4 (-4.2)	5.8 (2.2)	33.5 (-9.5)	13.5 (3.0)	6.1 (-0.4)	11.4 (0.4)	12.3 (-7.4)	24.8 (-0.8)
国公立	105	14.5 (-2.6)	3.9 (3.9)	31.3 (-5.9)	17.8 (-5.1)	5.4 (-3.1)	13.8 (-3.2)	8.7 (-17.1)	23.6 (3.7)
私立	251	10.2 (-5.3)	6.7 (2.6)	34.4 (-9.2)	11.7 (2.6)	6.5 (0.2)	10.5 (0.0)	13.8 (-5.2)	25.3 (-0.9)
大学院生	141	8.5 (4.0)	3.5 (0.9)	34.8 (-3.6)	9.9 (-10.6)	11.3 (-1.2)	13.5 (8.1)	17.0 (6.3)	19.1 (-2.3)

	n=	大学/大学院のキャリアセンター・就職部による紹介	大学/大学院の教員による紹介	家族や知人による紹介	マスコミ	その他のインターネット※各種就職情報サイトは含まない	その他	わからない・覚えていない
大学生	1,128	15.6 (2.0)	8.2 (5.3)	8.5 (-1.7)	3.1 (-1.2)	4.5 (0.1)	2.7 (0.2)	5.0 (-0.1)
文系	773	14.9 (1.6)	5.9 (3.4)	9.3 (-0.8)	3.0 (-2.0)	4.5 (0.8)	3.0 (0.2)	4.6 (-2.0)
国公立	91	19.5 (7.8)	8.3 (4.9)	13.1 (-1.9)	4.3 (-0.2)	9.0 (5.2)	4.7 (3.0)	5.4 (-3.4)
私立	682	14.3 (0.6)	5.6 (3.3)	8.8 (-0.0)	2.8 (-2.3)	3.9 (0.2)	2.8 (-0.3)	4.5 (-1.5)
理系	356	17.1 (2.8)	13.2 (9.5)	6.6 (-3.7)	3.5 (0.6)	4.4 (-1.3)	2.0 (0.2)	5.8 (3.8)
国公立	105	8.7 (-11.2)	11.4 (0.0)	11.3 (-8.6)	6.2 (-2.3)	2.3 (-6.2)	2.1 (2.1)	3.5 (-5.0)
私立	251	20.6 (7.0)	13.9 (11.1)	4.6 (-4.6)	2.3 (0.1)	5.3 (-0.1)	1.9 (-0.0)	6.8 (5.5)
大学院生	141	12.8 (2.9)	17.0 (2.7)	17.7 (0.8)	6.4 (-4.3)	6.4 (0.1)	5.0 (5.0)	4.3 (0.7)

* カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。
 * 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
 * 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑧就職予定先を選ぶ際の重視点

就職確定者が就職予定先を選ぶ際の重視点は、大学生、大学院生ともに「業種」がトップ。大学院生で「専攻などの経験」「職種」、その他地域の大学生で「雇用形態」を重視。

就職確定者が就職予定先を選ぶ際の重視点は、大学生・大学院生ともに「業種」が最も高い。大学院生は大学生と比べて、「大学院の専攻やこれまでの経験・取得資格を活かせるか」「職種」「事業の安定性・将来性」などの割合が高い。

属性別にみると、理系大学生で「大学の専攻やこれまでの経験・取得資格を活かせるか」、その他地域の大学生で「雇用形態」「民間企業・団体か、それ以外(公務員・教員など)か」を重視する傾向が強い。(図表17-1)

図表17-1 就職確定者の就職予定先を選ぶときの重視点(複数回答、単位=%)

	大学生							大学院生				
	(n=)	文系	国公立	私立	理系	国公立	私立	関東	中部	近畿	その他	(141)
	(1,128)	(773)	(91)	(682)	(356)	(105)	(251)	(438)	(208)	(237)	(245)	(141)
業種	75.4	72.3	78.6	71.5	81.9	81.2	82.2	72.7	74.1	78.7	78.0	80.9
職制(コース)※1	47.3	49.4	50.7	49.2	42.7	48.2	40.4	44.1	50.6	49.2	48.3	30.5
職種※2	50.5	50.7	50.5	50.7	50.3	48.8	50.9	48.7	54.2	47.5	53.8	61.7
勤務地	66.8	68.3	73.6	67.6	63.6	57.0	66.4	66.5	71.8	61.4	68.5	64.5
雇用形態	46.2	47.4	52.2	46.8	43.6	43.6	43.6	43.9	44.7	46.0	51.8	33.3
民間企業・団体か、 それ以外(公務員・教員など)か	17.1	19.1	27.7	18.0	12.6	14.7	11.8	17.9	15.2	11.6	22.4	16.3
外資企業・団体か 内資企業・団体か※3	9.9	11.1	12.0	10.9	7.5	5.3	8.4	9.4	8.0	8.5	14.0	6.4
大学・大学院の専攻やこれまでの 経験・取得資格を活かせるか	21.0	17.0	19.5	16.7	29.7	28.9	30.1	22.5	20.2	16.0	23.9	51.8
従業員規模	14.2	12.8	16.9	12.2	17.3	12.9	19.1	14.7	13.4	14.8	13.3	17.0
知名度	23.6	23.9	32.1	22.8	22.9	22.2	23.2	26.9	23.8	22.1	18.9	24.1
経営理念・ビジョン	27.5	29.6	40.3	28.2	22.7	24.7	21.9	27.1	22.0	33.7	26.7	32.6
事業の安定性・将来性	37.5	37.7	56.5	35.2	36.9	40.7	35.4	41.9	39.1	35.3	30.1	46.1
給与水準	49.8	48.7	58.2	47.5	52.2	54.2	51.3	48.0	53.6	46.9	52.5	54.6
勤務時間・休暇	53.9	56.5	64.4	55.4	48.3	52.5	46.5	52.2	56.2	51.5	57.4	51.8
組織風土・職場の人間関係	35.0	37.6	52.0	35.7	29.2	30.4	28.7	32.7	35.4	36.5	37.1	39.0
その他	0.6	0.8	0.4	0.8	0.2	-	0.3	0.5	0.8	0.8	0.3	-

※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑧就職予定先を選ぶ際の重視点

就職確定者が就職予定先を選ぶ際の最重視点は、大学生・大学院生ともに「業種」「勤務地」で4割強を占める。また、大学院生で「職種」の割合が高い。

属性別にみると、理系大学生で「業種」、中部地域の大学生で「勤務地」の割合が高い。また、その他地域の大学生は「業種」と「勤務地」の割合が拮抗している。(図表17-2)

図表17-2 就職確定者の就職予定先を選ぶときの最重視点(単一回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系			理系			関東	中部	近畿	その他	大学院生	
		(773)	国公立 (91)	私立 (682)	(356)	国公立 (105)	私立 (251)						
業種	(1,128)	23.2	20.7	21.2	20.6	28.8	24.1	30.8	22.2	19.7	29.1	22.4	24.1
職制(コース)※1		3.5	4.4	1.4	4.7	1.7	1.4	1.8	4.3	4.7	3.7	0.9	2.8
職種※2		8.0	8.2	8.2	8.2	7.6	6.3	8.1	8.1	6.4	8.3	8.8	14.9
勤務地		18.3	19.2	23.2	18.7	16.2	18.9	15.1	16.2	26.3	11.9	21.4	18.4
雇用形態		3.9	4.0	1.1	4.4	3.7	3.3	3.9	2.6	1.8	4.2	7.7	0.7
民間企業・団体が、 それ以外(公務員・教員など)か		1.8	2.1	3.8	1.8	1.4	2.6	0.8	2.8	0.6	1.5	1.6	-
外資企業・団体が 内資企業・団体が※3		0.3	0.4	-	0.5	-	-	-	-	-	1.3	-	-
大学・大学院の専攻やこれまでの 経験・取得資格を活かせるか		3.3	2.5	2.1	2.6	5.2	5.4	5.1	5.5	3.2	0.5	2.4	8.5
従業員規模		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
知名度		1.7	0.9	0.7	1.0	3.2	2.6	3.4	1.7	4.0	-	1.2	0.7
経営理念・ビジョン		3.2	3.5	5.2	3.3	2.3	2.7	2.1	4.4	3.6	2.6	1.1	3.5
事業の安定性・将来性		5.6	4.7	5.0	4.7	7.6	6.0	8.2	5.9	5.7	7.4	3.3	8.5
給与水準		6.9	6.7	4.5	7.0	7.2	7.8	7.0	5.5	7.4	7.8	8.2	3.5
勤務時間・休暇		9.8	10.7	11.0	10.6	8.1	8.7	7.8	11.4	6.2	8.6	11.3	4.3
組織風土・職場の人間関係		9.9	11.3	12.2	11.2	6.9	10.2	5.6	9.0	9.5	12.3	9.6	9.9
その他		0.5	0.7	0.4	0.7	0.2	-	0.3	0.3	0.8	0.8	0.3	-

※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資=日本国外に本社がある企業・団体、内資=日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑨在学中に実施したこと

在学中に実施した活動は、大学生で「アルバイト」、大学院生で「卒論・卒業研修・修論」が最も高い。前年から、理系大学生で「卒論、卒業研究」「ゼミでの活動」の活動率が減少。

在学中に実施していた活動は、大学生は「アルバイト」、大学院生は「修論」が最も高い。属性別にみると、文系大学生で「海外留学」「資格取得・検定受験のための学習活動」、理系大学生で「インターンシップ」「卒論、卒業研究」などの割合が高い。

2018年調査と比べると、国公立大学の文系大学生で「趣味など、自分の興味がある分野の活動」「ゼミや研究室での活動」などの活動率が増加し、理系大学生で「ゼミや研究室での活動」「卒論、卒業研究」の活動率が減少している。(図表18)

図表18 在学中に実施した活動(複数回答、単位=%)

	大学生 (n)	文系			理系			関東	中部	近畿	その他	大学院生
		(1311)	(875)	国立 (103)	私立 (772)	(436)	国立 (136)					
海外留学	10.3 (-2.3)	12.9 (-3.0)	13.8 (-5.7)	12.8 (-2.2)	5.2 (-0.7)	7.8 (-9.7)	4.0 (-0.6)	9.7 (-5.0)	12.8 (3.3)	12.6 (1.5)	7.3 (-2.9)	14.4 (0.8)
サークル活動	34.5 (-3.8)	33.1 (-8.3)	45.1 (10.9)	31.5 (-11.8)	37.1 (5.5)	46.3 (1.4)	33.0 (2.7)	33.2 (-8.9)	27.9 (-10.5)	34.6 (4.4)	41.7 (6.8)	45.8 (-2.2)
部活動	22.2 (5.8)	21.6 (5.8)	28.9 (10.7)	20.6 (5.5)	23.4 (5.6)	26.9 (4.3)	21.8 (4.6)	22.2 (6.8)	15.7 (0.2)	25.0 (7.6)	24.9 (5.0)	26.1 (6.1)
ボランティア	21.7 (1.5)	20.8 (1.1)	27.6 (0.3)	19.9 (2.1)	23.6 (2.4)	24.2 (-3.3)	23.3 (2.8)	17.5 (-0.6)	24.6 (1.9)	19.2 (4.2)	28.8 (-6.5)	12.4 (-10.0)
アルバイト	73.3 (-1.5)	72.5 (-3.7)	81.0 (9.2)	71.3 (-6.0)	75.0 (2.9)	74.1 (-15.9)	75.4 (5.3)	71.5 (-3.1)	74.1 (-3.9)	74.7 (-0.6)	74.5 (3.6)	75.2 (-6.4)
インターンシップ	38.9 (-0.5)	35.9 (-2.8)	46.7 (10.6)	34.5 (-4.9)	44.9 (4.0)	40.3 (-22.1)	47.0 (8.4)	36.9 (-3.0)	33.1 (-6.3)	40.9 (2.9)	45.1 (5.1)	49.0 (7.4)
公務員・教員採用試験のための 教育・学習活動	13.8 (-0.6)	14.5 (-0.0)	23.4 (11.8)	13.4 (-2.0)	12.4 (-1.7)	10.8 (-6.7)	13.1 (-0.6)	15.5 (1.3)	13.9 (-1.8)	10.3 (-1.2)	14.0 (-4.5)	7.8 (-10.6)
英語などの外国語学習	15.5 (0.1)	16.0 (-2.4)	23.0 (3.1)	15.1 (-2.9)	14.4 (5.1)	15.9 (0.9)	13.7 (5.1)	17.9 (2.7)	11.4 (-3.7)	20.4 (2.2)	10.2 (-1.7)	26.1 (5.3)
趣味など、自分の興味がある 分野の活動	40.2 (-1.7)	41.6 (-0.9)	56.2 (21.7)	39.6 (-4.9)	37.4 (-3.2)	29.5 (-25.6)	41.0 (1.9)	41.8 (-0.4)	42.0 (0.4)	37.9 (1.5)	38.2 (-12.2)	40.5 (-9.1)
スポーツ関連の活動	8.7 (-3.6)	7.8 (-3.6)	15.0 (2.0)	6.8 (-4.2)	10.5 (-3.6)	11.5 (-8.6)	10.0 (-3.4)	10.7 (-3.2)	6.8 (-2.3)	6.6 (-5.5)	8.7 (-0.8)	12.4 (-2.0)
資格取得・検定受験のための 学習活動	31.5 (-2.6)	33.5 (-1.0)	41.0 (3.3)	32.5 (-1.1)	27.4 (-5.8)	23.2 (-4.5)	29.2 (-4.5)	30.0 (-0.3)	28.9 (-9.4)	40.7 (1.0)	27.6 (-7.4)	26.1 (-5.9)
ゼミや研究室での活動	51.3 (-10.0)	50.4 (-6.9)	71.7 (20.9)	47.6 (-11.5)	53.1 (-16.2)	47.0 (-50.4)	55.8 (-10.4)	50.1 (-12.7)	58.1 (-14.0)	50.7 (-3.6)	48.2 (-4.5)	77.8 (-0.6)
授業への出席	61.3 (-5.1)	61.6 (-3.2)	70.4 (16.3)	60.4 (-7.1)	60.8 (-9.0)	58.7 (-28.7)	61.8 (-6.1)	60.1 (-6.7)	64.5 (-8.9)	63.6 (2.6)	58.8 (-6.7)	74.5 (-2.3)
卒論、卒業研究、修論	55.5 (-4.7)	52.8 (0.3)	67.2 (17.3)	50.9 (-2.3)	61.0 (-15.1)	60.7 (-36.7)	61.1 (-12.7)	50.1 (-9.5)	64.0 (-2.1)	59.1 (0.4)	54.3 (-3.6)	82.4 (-8.0)
あてはまるものはない	3.2 (-0.2)	3.6 (0.2)	1.7 (-0.6)	3.8 (0.2)	2.3 (-1.1)	2.1 (2.1)	2.4 (-1.4)	4.0 (-0.4)	3.0 (-0.3)	2.9 (0.8)	2.2 (0.4)	2.0 (0.4)

* カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。* 属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。
 * 2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
 * 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑩就職活動による各活動への支障状況

就職活動による各活動への支障状況(*)は、大学生で「アルバイト」、大学院生で「ゼミや研究室での活動」が最も高い。大学生で「公務員・教員採用試験の学習活動」への支障度が改善。

就職活動による各活動への支障状況(*)は、大学生では「アルバイト」が最も高く、「趣味など、自分の興味がある分野の活動」「公務員・教員採用試験のための教育・学習活動」などが続く。2018年調査と比べると、「英語などの外国語学習」「公務員・教員採用試験のための教育・学習活動」などで支障が生じた割合が減少している。

大学院生では「ゼミや研究室での活動」「修論」で4～5割に支障が生じているものの、2018年調査から、支障が大きく増えた活動はみられない。(図表19)

*「支障が生じた」「やや支障が生じた」の回答者を合計

図表19 各活動実施者の就職活動による活動への支障状況(単一回答、単位=%)

▼回答者数(単位=人)

	支障状況(%)				回答者数(人)			
	大学生	文系	理系	大学院生	大学生	文系	理系	大学院生
履修登録	23.9 (1.7)	24.2 (-2.2)	23.4 (9.6)	15.0 (0.6)	1,311	875	436	153
単位取得のための課題・試験	31.8 (2.8)	31.3 (-0.7)	32.9 (10.0)	23.5 (1.9)	1,311	875	436	153
海外留学	24.1 (-9.2)	22.2 (-14.1)	34.0 (17.2)	31.8 (2.4)	136	113	23	22
サークル活動	25.7 (-1.2)	27.7 (1.5)	22.3 (-6.9)	20.0 (3.3)	452	290	162	70
部活動	33.2 (-5.4)	39.6 (-0.7)	21.5 (-14.2)	12.5 (-15.5)	291	189	102	40
ボランティア	22.0 (-4.7)	22.6 (-4.2)	21.0 (-5.5)	31.6 (6.6)	285	182	103	19
アルバイト	47.7 (-6.9)	49.5 (-9.1)	44.3 (-1.7)	44.3 (2.2)	961	634	327	115
インターンシップ	16.0 (0.7)	17.3 (-0.4)	13.9 (3.2)	9.3 (-0.3)	510	314	196	75
公務員・教員採用試験のための教育・学習活動	39.6 (-10.8)	37.8 (-15.9)	43.7 (0.6)	58.3 (14.9)	181	127	54	12
英語などの外国語学習	26.4 (-16.8)	32.6 (-3.2)	12.4 (-61.1)	22.5 (-4.4)	203	140	63	40
趣味など、自分の興味がある分野の活動	42.5 (-10.3)	41.9 (-8.9)	43.9 (-13.1)	45.2 (3.2)	527	364	163	62
スポーツ関連の活動	38.7 (1.9)	37.2 (3.1)	41.0 (-0.4)	42.1 (-13.5)	114	68	46	19
資格取得・検定受験のための学習活動	26.2 (-5.1)	26.4 (-5.4)	25.6 (-4.6)	25.0 (-)	412	293	119	40
ゼミや研究室での活動	36.1 (-0.6)	32.5 (-5.0)	43.1 (7.7)	54.6 (-1.5)	673	441	231	119
授業への出席	31.7 (-7.2)	34.9 (-8.6)	25.2 (-5.1)	24.6 (6.9)	804	539	265	114
卒論、卒業研究、修論	36.2 (-2.1)	34.9 (-1.0)	38.3 (-3.2)	48.4 (1.5)	728	462	266	126

※支障が生じた・計:「支障が生じた」+「やや支障が生じた」

*カッコ内は2018年とのスコア差を掲載。*属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。

*2018年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けにした。(回答者数が30未満のスコアを除く) *回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

*数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

①勤務地の志向

大学生の勤務地の志向は、都市部・首都圏派:3割半ば、地方派、こだわらない派:2割。前年から「地方派」が増加。就職予定先を選ぶ際の重視点は、多くのクラスターで「業種」がトップ。

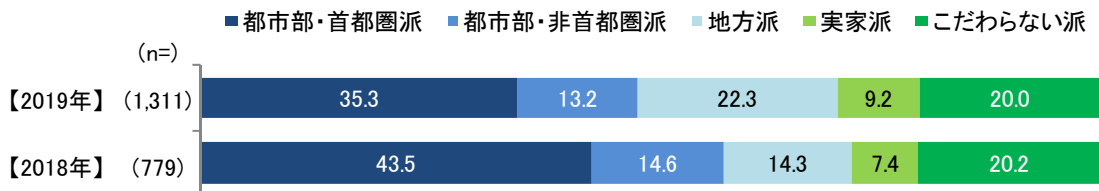
大学生の就職先勤務地の志望をもとにクラスター分析を実施し、回答者のグルーピングを行った。クラスターの構成比は、「都市部・首都圏派」が3割半ばで最も高く、「地方派」「こだわらない派」が2割、「都市部・非首都圏派」「実家派」が1割前後で続く。2018年調査と比べると、「都市部・首都圏派」が減少し、「地方派」が増加している。(図表20)

各クラスター別の特徴は、都市部・首都圏派は、「関東」居住者が多く、全員が「首都圏で就職したい」と回答している。こだわらない派は、居住地の特徴はみられないが、「海外勤務できる企業に就職したい」が4割と、他のクラスターよりも高い。都市部・非首都圏派は「近畿」、地方派は「中部」が多い。(図表21、図表22)

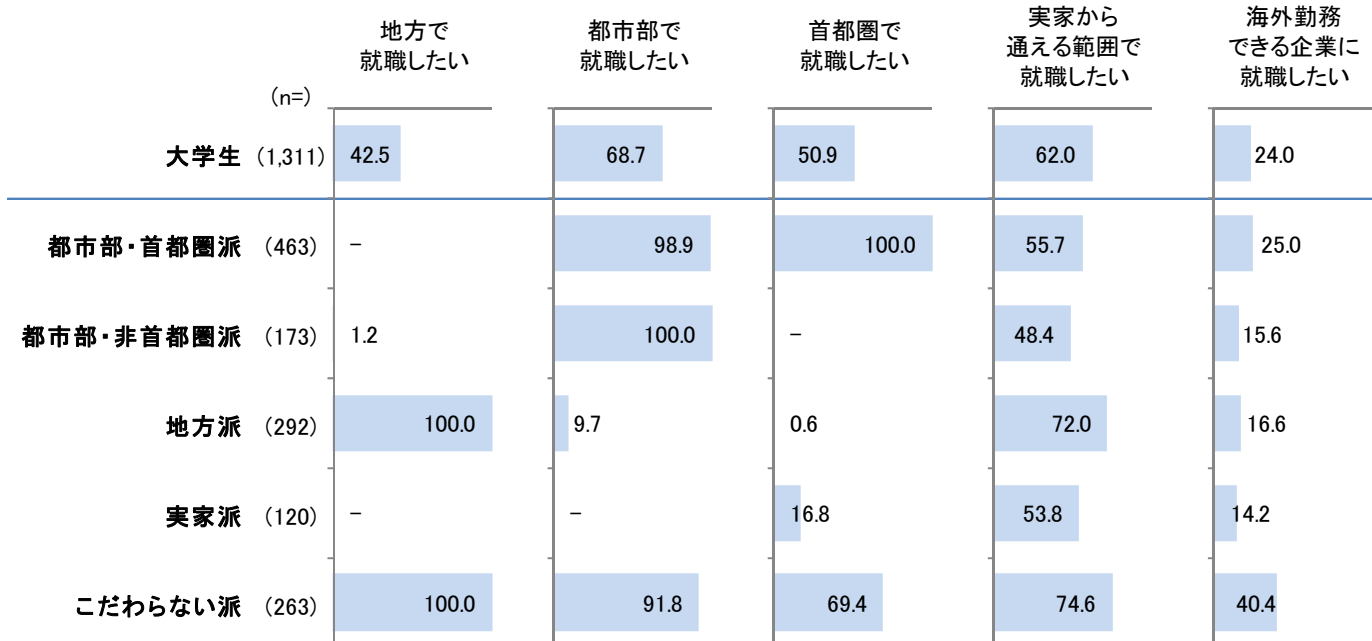
クラスター分析の実施概要

クラスター分析とは、多変量解析の一手法で、ある特定の集団を統計的な基準に基づき、互いに似た者同士のグルーピング(クラスタリング)を行い、集団を分類する手法。 右記の調査結果をもとに、非階層クラスター分析(k-means法)を実施し、回答者をクラスタリング。	Q. 就職活動を実施した当初の、志望する就職先勤務地についてあなたの考えに近いものをご回答ください。	1	2	3	4
		あてはまる	あどてはまる	あどてはまらない	あてはまらない
	1. 地方で就職したい →	○	○	○	○
	2. 都市部で就職したい →	○	○	○	○
	3. 首都圏で就職したい →	○	○	○	○

図表20 大学生のクラスター構成比(単一回答、単位=%)



図表21 クラスター別の就職活動開始当初の志望就職先勤務地(単一回答、単位=%)



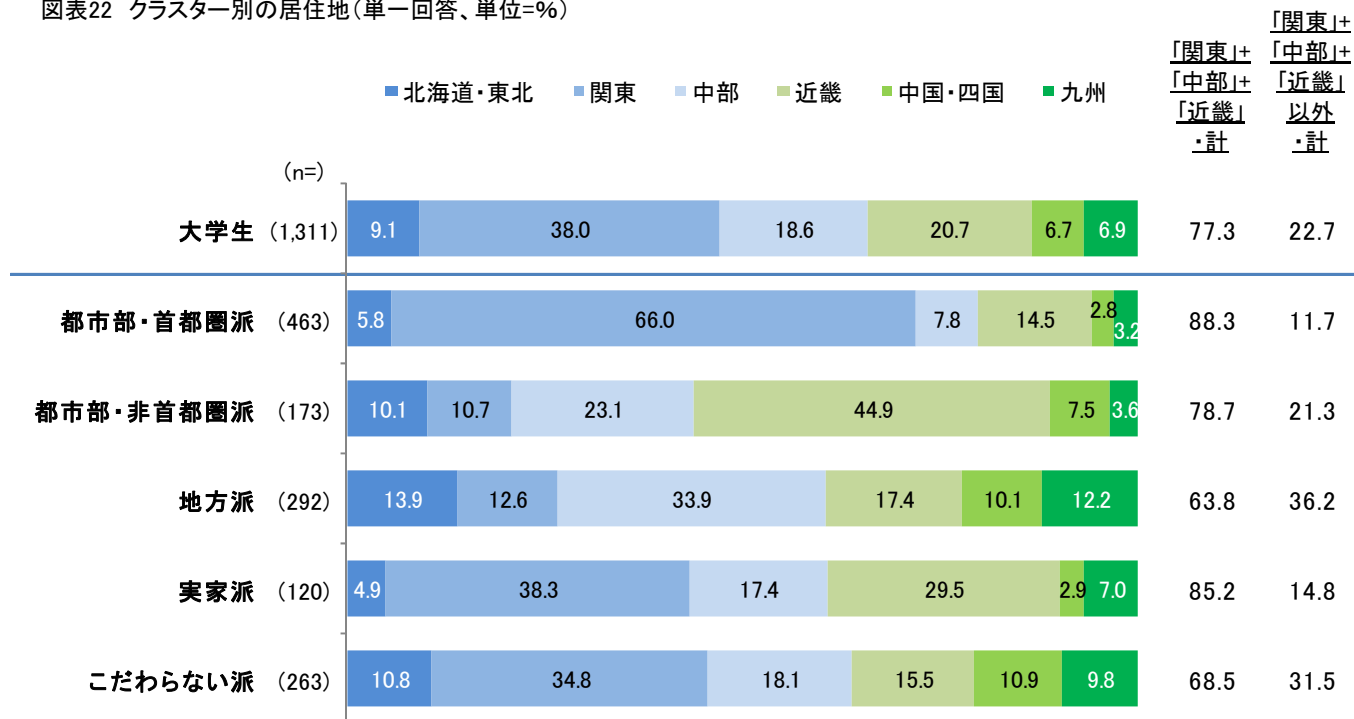
※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」

①勤務地の志向

クラスター別の就職予定先への満足・計(*)は、地方派が9割を超える一方、実家派は7割後半と、満足度に開きがみられる。(図表23)

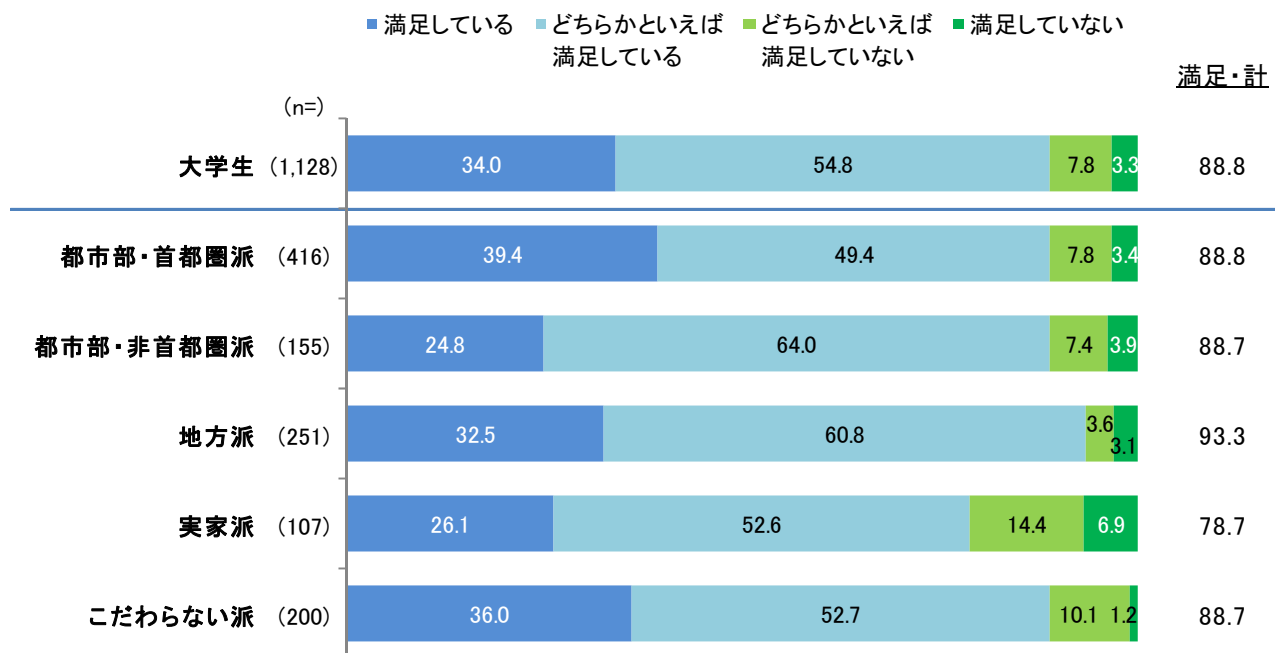
*「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答者を合計

図表22 クラスター別の居住地(単一回答、単位=%)



図表23 クラスター別の就職予定先への満足度状況(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベースに限定して聴取。



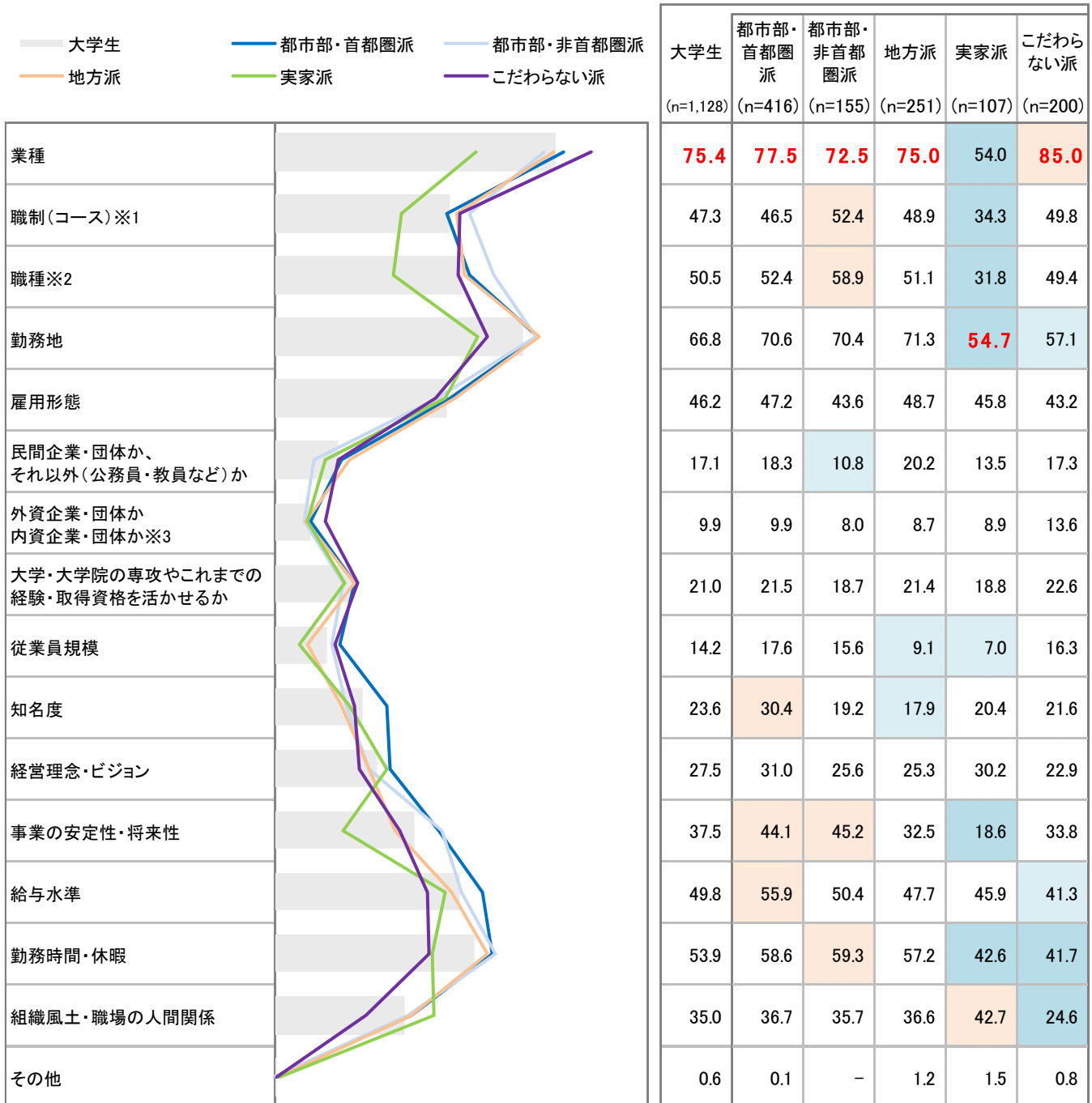
※満足・計:「満足している」+「どちらかといえば満足している」

①勤務地の志向

クラスター別の就職予定先を選ぶ際の重視点は、こだわらない派で「業種」の重視度が高い。それ以外のクラスターは「業種」と「勤務地」の割合が拮抗している。

都市部・首都圏派で「知名度」「事業の安定性・将来性」「給与水準」、都市部・非首都圏派で「職制」「職種」の重視度が比較的高い。(図表24-1)

図表24-1 クラスター別の就職予定先を選ぶときの重視点(複数回答、単位=%)
※就職確定者ベースに限定して聴取。



※1:例)総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2:例)営業職、企画職、事務職、技術職など

※3:外資=日本国外に本社がある企業・団体、内資=日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

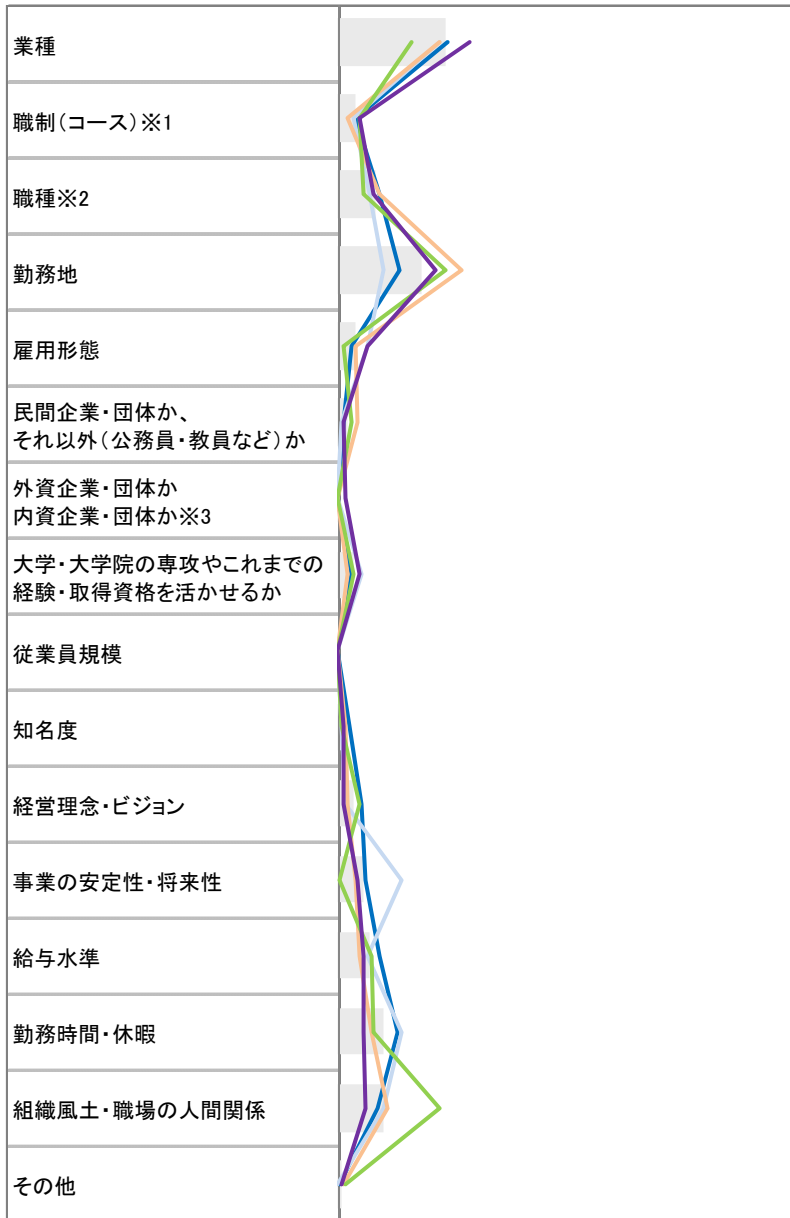
* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

①勤務地の志向

クラスター別の就職予定先を選ぶ際の最重視点は、地方派、実家派は「勤務地」、それ以外のクラスターは「業種」が最も高い。また、実家派で「組織風土・職場の人間関係」の重視度が高い。(図表24-2)

図表24-2 クラスター別の就職予定先を選ぶときの最重視点(単一回答、単位=%)
※就職確定者ベースに限定して聴取。

■ 大学生
■ 地方派
■ 都市部・首都圏派
■ 実家派
■ 都市部・非首都圏派
■ こだわらない派



	大学生 (n=1,128)	都市部・ 首都圏派 (n=416)	都市部・ 非首都 圏派 (n=155)	地方派 (n=251)	実家派 (n=107)	こだわ らない派 (n=200)
業種	23.2	23.8	22.2	21.8	16.1	28.7
職制(コース)※1	3.5	3.6	3.2	2.1	4.5	4.7
職種※2	8.0	8.8	6.7	8.8	5.3	7.6
勤務地	18.3	13.5	9.8	26.9	23.2	21.3
雇用形態	3.9	2.7	6.4	3.7	1.1	6.4
民間企業・団体か、 それ以外(公務員・教員など)か	1.8	1.1	0.7	4.1	3.0	0.9
外資企業・団体か 内資企業・団体か※3	0.3	-	-	-	-	1.6
大学・大学院の専攻やこれまでの 経験・取得資格を活かせるか	3.3	2.9	4.8	2.1	3.3	4.8
従業員規模	-	-	-	-	-	-
知名度	1.7	2.6	0.5	1.6	0.8	1.2
経営理念・ビジョン	3.2	5.1	1.7	1.8	4.5	1.2
事業の安定性・将来性	5.6	5.8	13.9	3.5	0.3	4.2
給与水準	6.9	9.1	6.4	4.8	7.1	5.4
勤務時間・休暇	9.8	12.7	13.8	7.2	7.5	5.4
組織風土・職場の人間関係	9.9	8.4	9.9	10.8	21.8	5.7
その他	0.5	0.1	-	0.9	1.5	0.8

※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑫従業員規模の志向

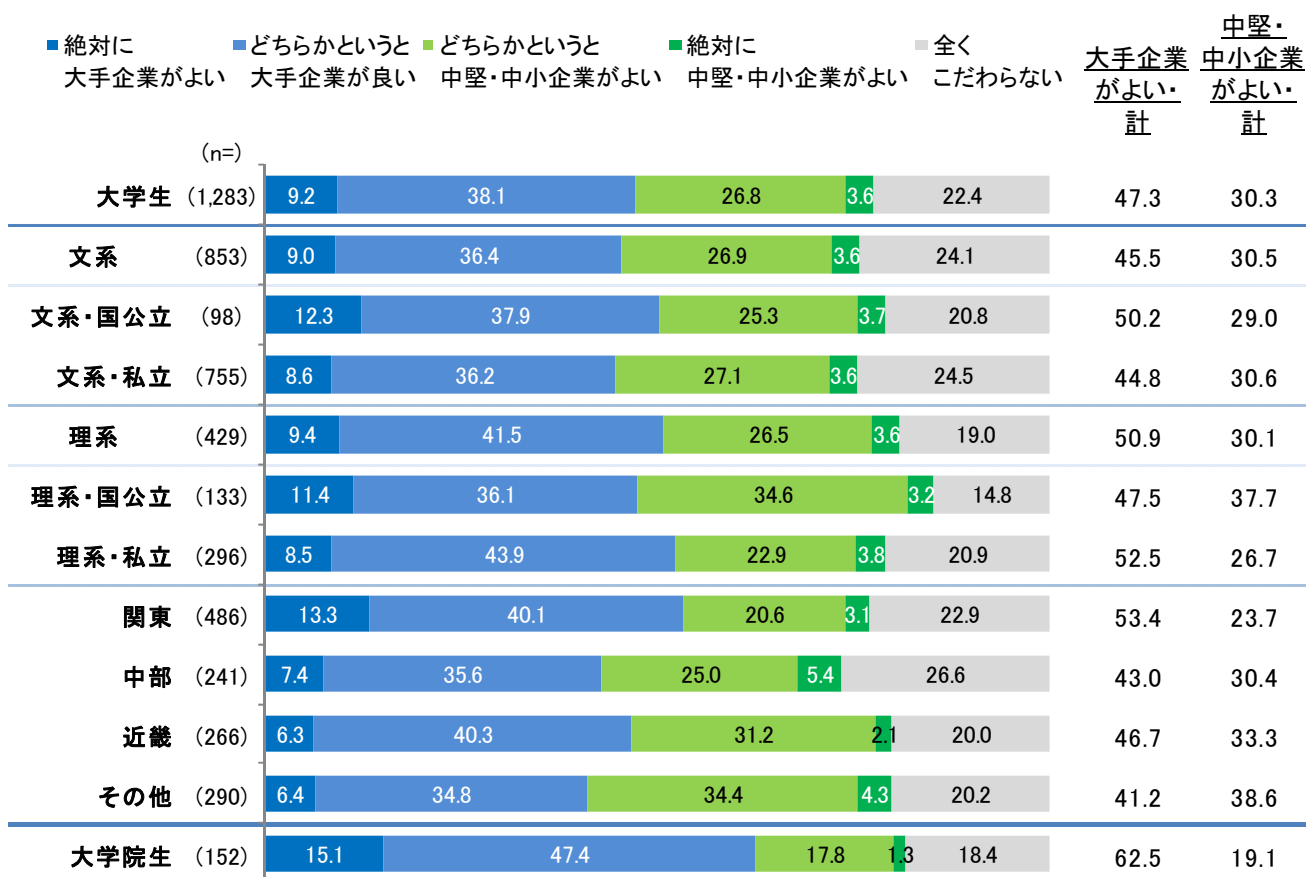
大学生の志望従業員規模は、「大手派」が4割後半、「中堅・中小企業派」が3割、「こだわらない派」が2割強。大学院生、理系大学生で、大手志向が強い。

就職活動の開始当初に志望した従業員規模は、大学生の4割後半、大学院生の6割強が大手企業がよい・計(*)となっており、大学院生のほうが大手志向が強い。なお、大学生・大学院生ともに2割前後が「全くこだわらない」と回答している。

属性別にみると、理系大学生、関東地域の大学生で大手企業がよい・計が高い。(図表25)

*「絶対に大手企業がよい」「どちらかというと大手企業が良い」の回答者を合計

図表25 就職活動開始当初の志望従業員規模(単一回答、単位=%)
※企業就職志望者ベース



※大手企業がよい・計:「絶対に大手企業がよい」+「どちらかというと大手企業が良い」

※中堅・中小企業がよい・計:「どちらかというと中堅・中小企業がよい」+「絶対に中堅・中小企業がよい」

⑫従業員規模の志向

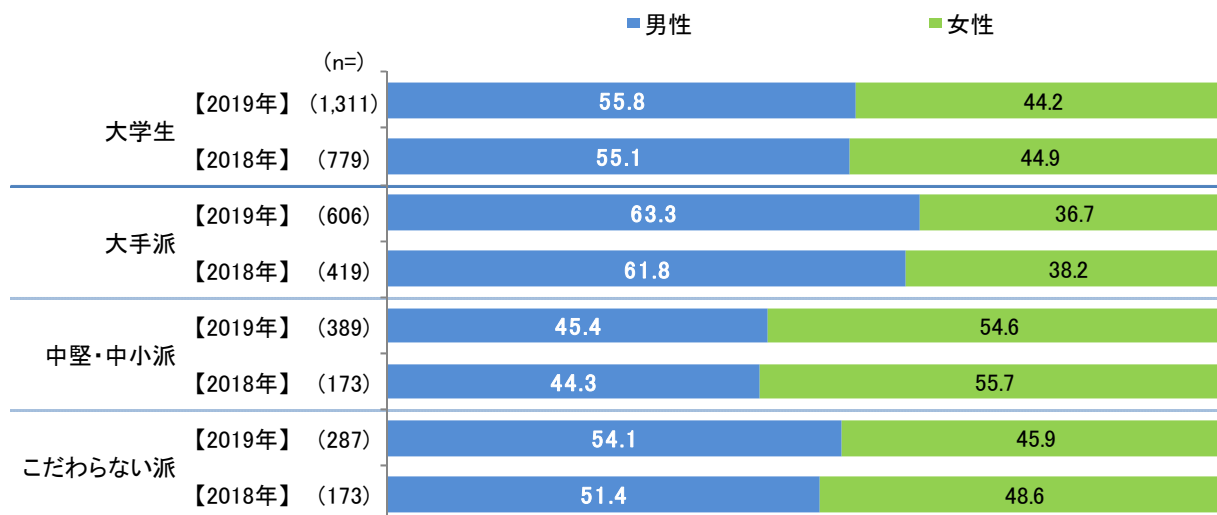
志望従業員規模別の属性は、大手派で「男性」「関東」居住者の割合が高い。(図表26、27)

志望従業員規模別の就職予定先の満足度は、すべての属性で約9割が満足・計(*)と回答しているが、大手派は「満足している」が4割台と高い。(図表28)

*「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答者を合計

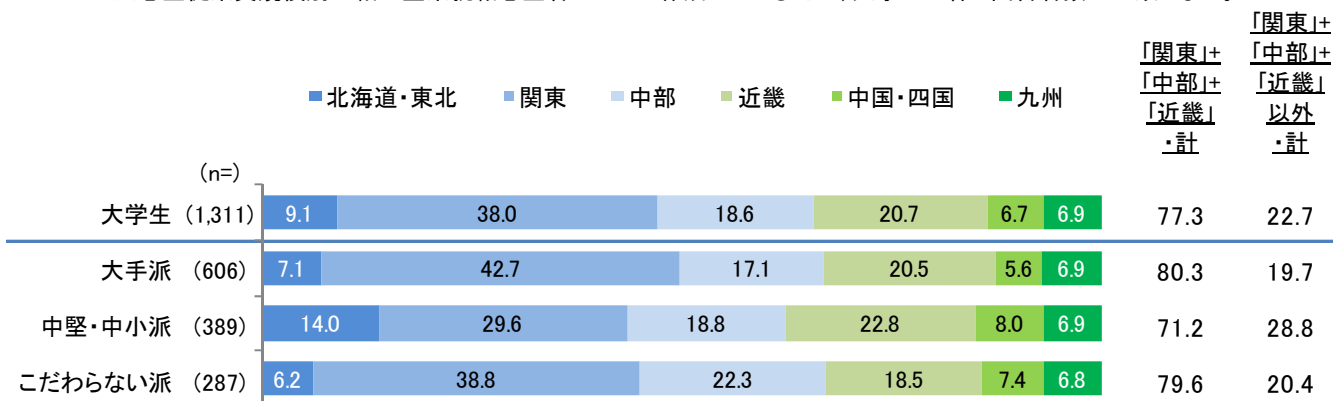
図表26 志望従業員規模別の性別(単一回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



図表27 志望従業員規模別の居住地(単一回答、単位=%)

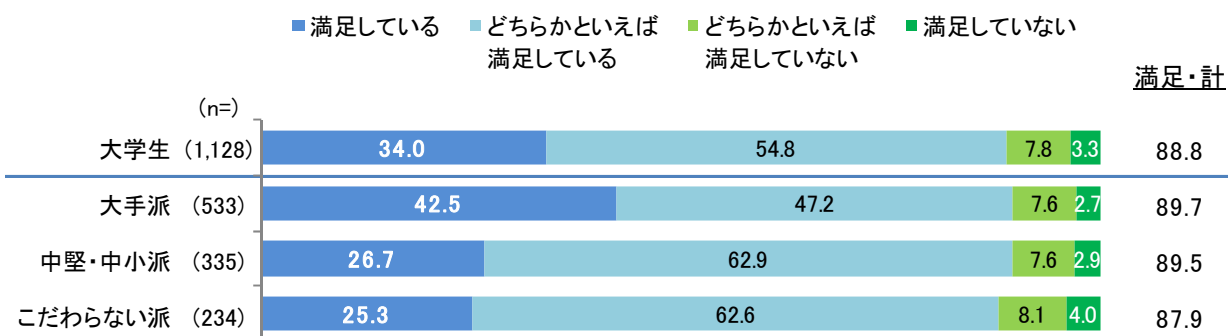
※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



図表28 志望従業員規模別の就職予定先の満足度状況(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベースに限定して聴取。

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※満足・計:「満足している」+「どちらかといえば満足している」

⑫従業員規模の志向

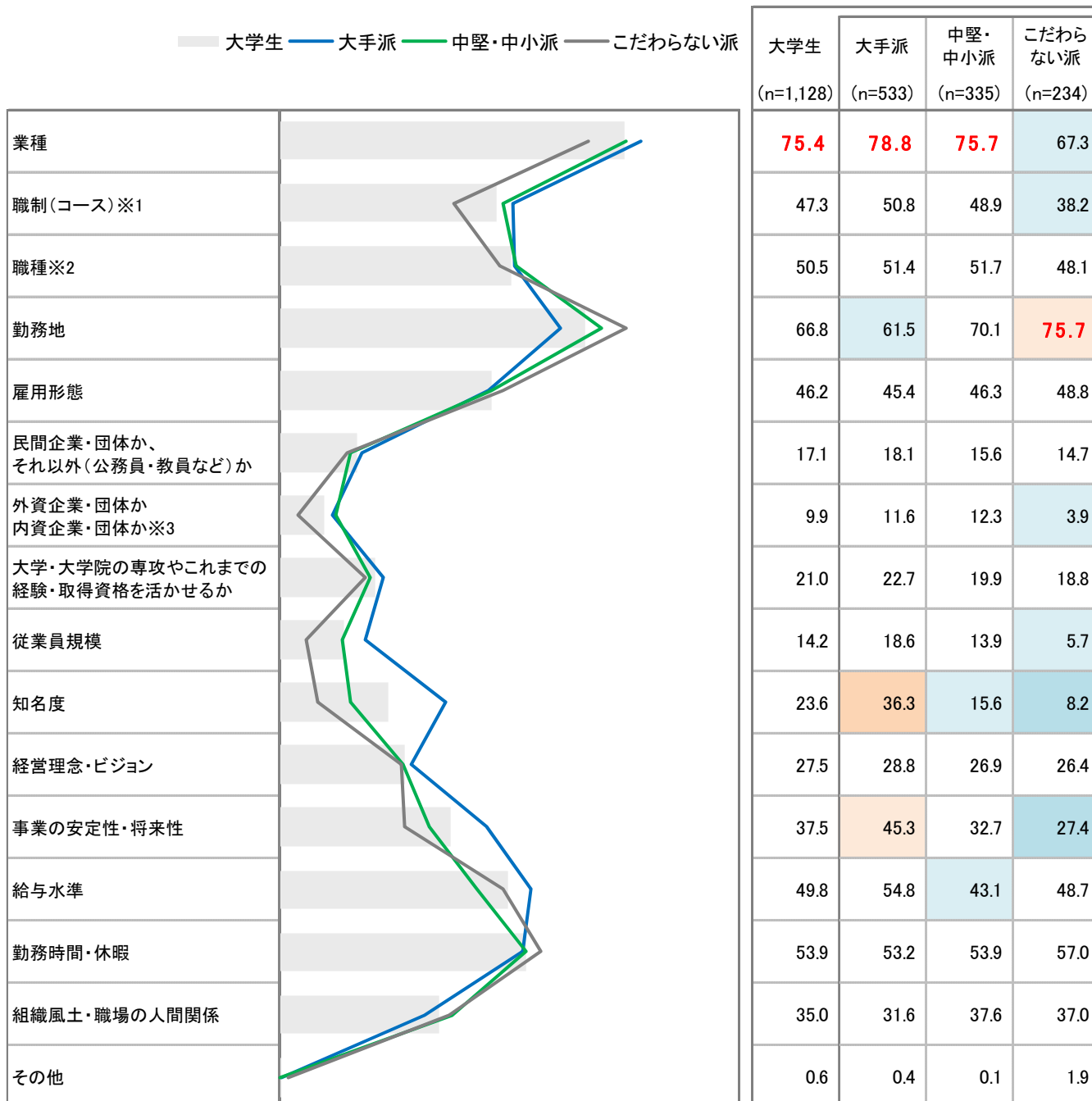
志望従業員規模別の就職予定先を選ぶ際の重視点は、大手派、中堅・中小派で「業種」、こだわらない派で「勤務地」が最も高い。

大手派で「知名度」「事業の安定性・将来性」の重視度が高い。(図表29-1)

図表29-1 志望従業員規模別の就職予定先を選ぶときの重視点(複数回答、単位=%)

※就職確定者ベースに限定して聴取。

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資=日本国外に本社がある企業・団体、内資=日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

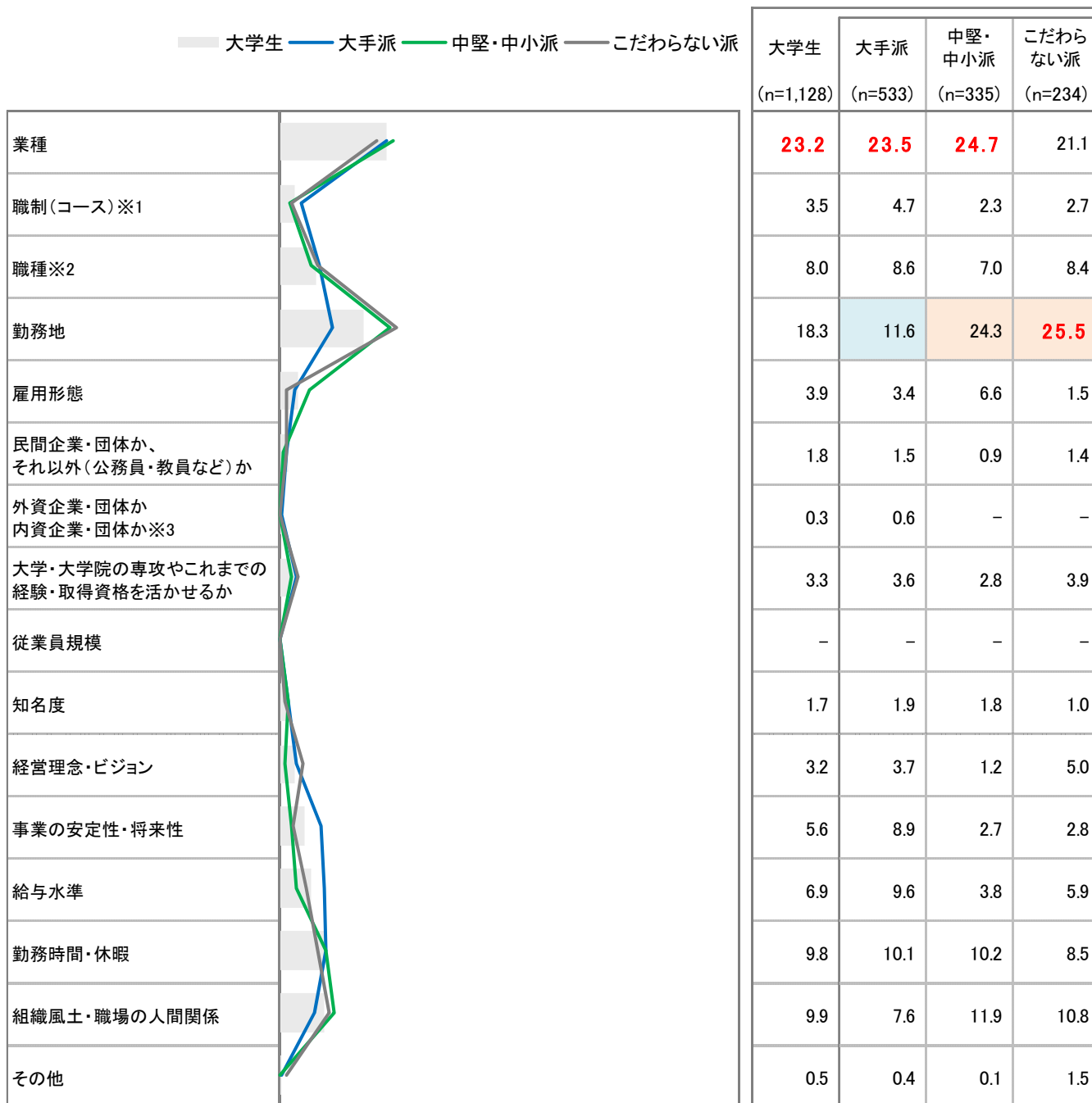
⑫従業員規模の志向

志望従業員規模別の就職予定先を選ぶ際の最重視点は、大手派で「業種」が最も高い一方で、中堅・中小派、こだわらない派は「業種」と「勤務地」の割合が拮抗している。(図表29-2)

図表29-2 志望従業員規模別の就職予定先を選ぶときの最重視点(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベースに限定して聴取。

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑬ インターンの参加状況

インターンシップ参加時期は、大学生で「大学3年生8月」が最も高く、この時期に初めて参加が最も高い。理系大学生は「大学3年生8月」と「大学3年生2月」の参加率が拮抗。

インターンシップ参加者におけるインターンシップ参加時期は、大学生で「大学3年生8月」、大学院生で「大学4年生3月以降」が最も高い。

属性別にみると、文系大学生は「大学3年生8月」が最も高いが、理系大学生は「大学3年生8月」と「大学3年生2月」の割合が拮抗している。(図表30-1)

図表30-1 インターンシップに参加した時期(複数回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系 (682)	国公立 (80)	私立 (601)	理系 (356)	国公立 (110)	私立 (246)	関東 (408)	中部 (178)	近畿 (218)	その他 (234)	大学院生 (127)
大学入学前	7.7	7.9	6.9	8.0	7.2	6.2	7.7	7.8	10.5	5.3	7.6	3.1
大学1年生	5.5	5.7	6.1	5.7	5.1	7.0	4.3	5.3	4.1	4.7	7.7	3.1
大学2年生	11.1	9.9	9.3	9.9	13.6	10.4	15.1	11.0	12.9	9.0	12.1	3.9
大学3年生4月	6.3	6.6	5.7	6.8	5.7	3.2	6.9	7.3	1.7	3.0	11.2	4.7
大学3年生5月	4.7	5.2	3.4	5.4	3.7	2.0	4.5	3.1	2.0	7.5	6.9	3.1
大学3年生6月	5.9	6.6	6.0	6.7	4.5	4.4	4.5	5.2	7.5	5.9	5.8	3.1
大学3年生7月	16.4	17.5	17.2	17.5	14.3	13.9	14.4	17.1	12.3	14.8	19.7	3.1
大学3年生8月	34.6	34.2	45.4	32.7	35.5	35.9	35.4	35.3	32.4	37.5	32.6	15.0
大学3年生9月	21.1	21.6	27.2	20.9	20.0	31.6	14.8	21.9	13.1	28.5	18.8	10.2
大学3年生10月	14.5	16.7	15.2	16.9	10.1	7.6	11.3	15.3	12.1	21.3	8.3	7.1
大学3年生11月	13.3	14.3	20.0	13.6	11.2	12.7	10.6	15.2	9.0	19.4	7.5	5.5
大学3年生12月	20.3	21.8	23.4	21.6	17.5	17.6	17.5	23.3	11.9	32.9	10.1	8.7
大学3年生1月	20.7	20.9	22.0	20.8	20.2	18.7	20.9	24.6	13.4	30.1	10.5	11.0
大学3年生2月	27.8	24.2	26.0	24.0	34.8	30.4	36.7	27.2	29.5	32.1	23.8	17.3
大学3年生3月	11.9	9.8	13.6	9.3	15.9	21.3	13.4	10.7	13.5	13.4	11.4	2.4
大学4年生4月	5.0	4.6	1.2	5.0	5.8	12.1	3.0	6.0	6.1	4.2	3.2	0.8
大学4年生5月	2.6	2.6	1.4	2.8	2.6	5.6	1.3	4.0	-	2.6	2.2	0.8
大学4年生6月	2.4	2.1	1.2	2.2	2.9	6.2	1.4	2.4	-	2.8	3.7	0.8
大学4年生7月	2.2	1.9	2.9	1.7	2.8	8.1	0.4	3.1	1.5	1.5	1.8	3.9
大学4年生8月	3.0	2.2	1.8	2.2	4.4	10.0	1.9	3.6	1.2	2.9	3.2	3.9
大学4年生9月	2.0	2.1	1.4	2.2	1.8	3.7	1.0	3.1	2.0	2.0	-	2.4
大学4年生10月	1.4	1.4	1.8	1.4	1.3	-	1.9	1.1	1.3	2.4	1.0	0.8
大学4年生11月	1.0	0.8	-	0.9	1.3	-	1.9	1.1	1.8	-	1.0	1.6
大学4年生12月	1.2	1.1	-	1.2	1.2	-	1.8	1.4	1.8	1.5	-	1.6
大学4年生1月	1.2	1.2	-	1.4	1.2	-	1.8	2.1	1.8	-	0.4	1.6
大学4年生2月	1.7	1.9	-	2.2	1.2	1.9	1.0	1.9	2.9	0.1	1.7	3.9
大学4年生3月以降	4.3	5.4	3.3	5.7	2.2	0.7	2.9	6.5	1.8	3.0	3.5	54.3

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑬ インターンの参加状況

インターンシップに初めて参加した時期は、大学生で「大学3年生8月」、大学院生で「大学4年生3月以降」が最も高い。
(図表30-2)

図表30-2 インターンシップに初めて参加した時期(単一回答、単位=%)

	大学生	文系		理系		関東	中部	近畿	その他	大学院生		
	(n=)	(682)	国立	私立	(356)						国立	私立
	(1,037)	(80)	(601)	(110)	(246)	(408)	(178)	(218)	(234)	(127)		
大学入学前	6.0	6.3	5.1	6.5	5.5	6.2	5.1	6.1	9.0	3.7	5.7	1.6
大学1年生	3.4	3.6	4.7	3.5	3.0	4.5	2.3	3.9	1.0	1.8	5.9	2.4
大学2年生	7.7	7.0	6.1	7.1	9.0	4.4	11.1	7.9	10.4	7.5	5.2	1.6
大学3年生4月	3.2	3.5	3.4	3.5	2.8	1.9	3.3	3.4	0.6	2.3	5.9	3.1
大学3年生5月	1.6	1.4	1.2	1.4	2.0	1.3	2.3	0.6	1.3	3.9	1.5	2.4
大学3年生6月	3.1	3.6	3.6	3.6	2.1	1.9	2.3	3.4	4.5	3.4	1.0	1.6
大学3年生7月	9.8	10.7	9.1	11.0	7.9	8.8	7.5	9.2	8.2	8.5	13.1	1.6
大学3年生8月	22.0	21.6	32.1	20.2	22.6	22.1	22.8	20.5	23.2	21.8	23.6	13.4
大学3年生9月	6.7	6.6	6.9	6.6	6.7	9.2	5.6	6.7	6.7	5.8	7.3	3.9
大学3年生10月	4.2	4.8	1.6	5.3	2.9	1.3	3.6	4.5	6.3	4.9	1.1	2.4
大学3年生11月	2.5	2.4	5.1	2.0	2.6	4.4	1.8	2.9	0.4	3.0	2.8	0.8
大学3年生12月	4.0	4.8	3.8	4.9	2.5	1.3	3.1	4.4	2.6	7.1	1.6	1.6
大学3年生1月	4.3	4.5	4.2	4.5	3.9	-	5.6	4.9	3.7	5.8	2.2	3.1
大学3年生2月	6.5	4.5	3.8	4.6	10.3	8.2	11.2	6.6	7.8	5.0	6.6	4.7
大学3年生3月	4.9	4.1	4.9	4.0	6.5	13.1	3.5	3.0	7.6	5.6	5.4	1.6
大学4年生4月	1.5	1.9	-	2.1	0.9	1.4	0.7	2.1	1.4	1.4	0.9	-
大学4年生5月	0.3	0.3	-	0.4	0.2	-	0.3	0.5	-	0.4	-	-
大学4年生6月	0.7	0.9	0.8	0.9	0.4	0.7	0.4	0.2	-	0.5	2.3	0.8
大学4年生7月	0.5	0.4	-	0.4	0.8	2.5	-	0.4	0.9	-	0.9	0.8
大学4年生8月	1.2	0.4	-	0.4	2.7	4.4	1.9	0.7	-	0.9	3.1	2.4
大学4年生9月	0.7	0.8	-	0.9	0.7	-	1.0	0.3	1.8	1.5	-	0.8
大学4年生10月	0.1	0.2	0.4	0.1	-	-	-	0.1	-	0.4	-	-
大学4年生11月	0.0	0.0	-	0.1	-	-	-	0.1	-	-	-	0.8
大学4年生12月	0.5	0.5	-	0.5	0.6	-	0.8	0.5	-	1.5	-	-
大学4年生1月	0.6	0.6	-	0.7	0.6	-	0.8	1.3	-	-	0.4	-
大学4年生2月	0.3	0.1	-	0.1	0.6	1.9	-	0.1	1.2	0.1	-	0.8
大学4年生3月以降	3.8	4.7	3.3	4.9	2.2	0.7	2.9	5.5	1.3	3.0	3.5	48.0

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑬ インターンの参加状況

**インターンシップの認知きっかけは「就職情報サイト／就職情報アプリ／就職情報誌」がトップ。
参加期間は、大学生・大学院生ともに「1日」が中心も、大学院生のほうが参加期間が長い。**

インターンシップを認知したきっかけは、大学生・大学院生ともに「就職情報サイト／就職情報アプリ／就職情報誌」が最も高い。属性別にみると、私立大学の理系大学生、中部地域の大学生で「大学」の割合が高い。(図表31)

インターンシップの参加期間は、大学生・大学院生ともに「1日」が中心となっているが、大学院生のほうが参加期間が長い傾向がみられる。(図表32)

図表31 インターンシップの認知きっかけ(複数回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系			理系	国公立		私立	関東	中部	近畿	その他	大学院生 (127)
		(1,037)	(682)	国公立 (80)		私立 (601)	(356)						
企業／官公庁／組織・団体等のサイト	27.8	26.6	37.3	25.1	30.1	30.2	30.1	29.3	29.7	21.0	30.1	35.4	
大学	44.5	42.9	39.4	43.4	47.7	43.1	49.8	41.2	47.6	41.3	51.1	33.1	
就職情報サイト／ 就職情報アプリ／就職情報誌	54.8	57.8	62.6	57.1	49.2	51.3	48.3	56.7	45.8	61.1	52.7	66.1	
インターンシップ斡旋団体 (NPO含む)のサイト等	5.8	5.4	5.9	5.4	6.5	5.0	7.2	7.3	5.4	4.6	4.7	6.3	
ソーシャルメディア(Facebook、 Twitter、LINE、Instagram等)	2.8	3.2	5.5	2.8	2.0	0.7	2.6	1.6	6.4	2.9	1.8	4.7	
その他	1.6	0.9	0.8	0.9	3.0	2.5	3.3	1.5	2.1	0.5	2.6	1.6	

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

図表32 インターンシップの参加期間(複数回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系			理系	国公立		私立	関東	中部	近畿	その他	大学院生 (127)
		(1,037)	(682)	国公立 (80)		私立 (601)	(356)						
1日	63.1	64.5	61.4	64.9	60.5	59.0	61.2	64.5	66.4	65.4	56.1	59.8	
2日	16.8	15.5	14.7	15.6	19.3	26.5	16.0	18.0	12.2	14.6	20.3	22.0	
3日以上1週間未満	26.8	27.0	41.2	25.1	26.3	34.3	22.7	24.1	30.0	28.5	27.2	34.6	
1週間以上2週間未満	14.6	13.1	10.5	13.4	17.4	11.6	20.1	13.7	16.9	13.7	15.2	18.1	
2週間以上1ヶ月未満	5.1	5.3	4.5	5.5	4.7	1.3	6.2	5.8	4.8	6.6	2.8	11.8	
1ヶ月以上3ヶ月未満	2.7	2.9	3.7	2.8	2.4	3.2	2.1	4.1	1.1	1.8	2.3	2.4	
3ヶ月以上	3.1	2.4	3.7	2.3	4.3	3.7	4.5	3.8	3.3	1.2	3.2	4.7	

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑬ インターンの参加状況

**インターンシップ先を選ぶ際の重視点は、大学生・大学院生ともに「業種」がトップ。
大学院生で「職種」「インターン内容」「企業名」「日程・期間」の重視度が高い。**

インターンシップ先を選ぶ際に重視した点は、大学生・大学院生ともに「業種」が最も高い。また、大学院生で「職種」「インターン内容」「企業名」「日程・期間」の重視度が高い。

属性別にみると、国公立大学の文系大学生で「インターン内容」「企業名」「日程・期間」の割合が高い。(図表33)

図表33 インターンシップ先を選ぶ際に重視した点(複数回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系		理系		関東	中部	近畿	その他	大学院生		
		国公立	私立	国公立	私立							
	(1,037)	(682)	(80)	(601)	(356)	(110)	(246)	(408)	(178)	(218)	(234)	(127)
業種	57.5	59.0	63.0	58.5	54.6	57.3	53.4	60.5	49.5	58.5	57.5	65.4
職種	35.5	33.5	34.4	33.4	39.2	40.9	38.5	33.9	32.4	34.9	41.2	45.7
会場(地域・場所)	29.5	28.2	35.8	27.2	31.8	29.5	32.8	25.3	31.4	28.5	36.1	29.1
インターン内容	39.1	38.8	50.2	37.3	39.8	34.9	42.0	41.4	29.9	43.3	38.4	52.8
企業・各種団体等の規模	10.9	10.5	19.3	9.4	11.5	5.7	14.1	10.0	14.2	12.6	8.2	15.7
企業名	17.3	16.6	27.4	15.2	18.7	21.0	17.7	15.8	13.6	21.6	18.9	28.3
日程・期間	26.2	24.1	36.7	22.4	30.2	29.6	30.5	27.6	26.8	27.2	22.5	41.7
報酬	4.0	3.9	6.1	3.7	4.1	5.0	3.6	4.8	2.3	3.6	4.3	3.1
採用選考に直結するかどうか	6.5	6.0	7.5	5.8	7.4	7.1	7.6	7.2	7.7	6.4	4.5	7.1
その他	0.9	1.1	-	1.2	0.6	1.9	-	0.2	2.2	0.8	1.2	0.8

- * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。
- * 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。
- * 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑬ インターンの参加状況

インターンシップの参加目的は、大学生・大学院生ともに「業種理解」「仕事理解」が上位。理系大学生で「企業・団体・職場の雰囲気を知る」が高い。

インターンシップの参加目的は、大学生・大学院生ともに「業種理解」「仕事理解」が上位となっている。また、大学院生で「企業・各種団体等の事業内容理解」「企業・各種団体等・職場の雰囲気を知る」の割合が高い。

属性別にみると、理系大学生で「企業・各種団体等・職場の雰囲気を知る」、関東地域の大学生で「業種理解」の割合が高い。(図表34)

図表34 インターンシップの参加目的(複数回答、単位=%)

	大学生	文系		理系		関東	中部	近畿	その他	大学院生		
	(n=)	(682)	国公立	私立	(356)	(110)	(246)	(408)	(178)	(218)	(234)	(127)
業種理解	52.8	53.0	59.3	52.1	52.4	57.0	50.3	58.0	50.9	46.4	51.1	61.4
仕事理解	50.6	51.2	53.1	51.0	49.4	50.3	49.0	51.9	48.5	51.7	48.9	59.1
企業・各種団体等の事業内容理解	25.1	23.5	38.3	21.6	28.2	31.7	26.7	27.9	18.0	27.3	23.8	41.7
企業・各種団体等・職場の雰囲気を知る	26.9	24.1	38.5	22.1	32.2	32.7	32.0	29.8	22.5	19.9	31.7	41.7
自分のスキルの見極め	18.2	17.9	25.9	16.8	18.8	23.2	16.8	17.9	14.9	21.0	18.6	12.6
自分自身のキャリア観を明確にする	15.8	16.5	26.5	15.1	14.6	12.0	15.8	15.4	13.3	18.2	16.3	19.7
大学カリキュラムの単位取得	8.0	7.7	7.7	7.6	8.7	1.3	12.1	5.1	11.2	8.2	10.6	9.4
内定獲得(採用直結)	10.3	10.8	16.9	10.0	9.5	5.0	11.5	10.0	9.7	13.3	8.8	16.5
社会人との人脈構築	8.9	8.6	11.0	8.3	9.4	9.7	9.3	9.5	5.7	11.9	7.3	9.4
他の就職活動生との人脈構築	4.3	4.9	9.6	4.3	3.1	-	4.5	3.8	3.3	5.9	4.5	9.4
報酬	0.7	1.1	1.8	1.0	-	-	-	1.5	-	-	0.5	0.8
その他	1.4	1.4	-	1.6	1.3	-	1.8	1.1	2.2	1.7	0.7	2.4
特に意識していた目的はなかった	7.2	7.6	8.3	7.5	6.3	4.6	7.0	6.7	8.7	6.6	7.3	2.4

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑬ インターンの参加状況

インターンシップの参加目的は、大学生で「業種について具体的に知ることができた」がトップ。理系大学生で「仕事内容を知ることができた」「自分のスキルを見極めることができた」が高い。

インターンシップに参加して良かった点は、大学生で「業種について具体的に知ることができた」、大学院生で「仕事内容を具体的に知ることができた」の割合が最も高い。また、大学院生で「企業・各種団体等の事業内容を具体的に知ることができた」「企業・各種団体等・職場の雰囲気を知ることができた」の割合が高い。

属性別にみると、理系大学生で「仕事内容を具体的に知ることができた」「自分のスキルを見極めることができた」の割合が高い。(図表35)

図表35 インターンシップに参加して良かった点(複数回答、単位=%)

	大学生	文系		理系		関東	中部	近畿	その他	大学院生		
	(n=)	(682)	国公立	私立	(356)						国公立	私立
	(1,037)	(682)	(80)	(601)	(356)	(110)	(246)	(408)	(178)	(218)	(234)	(127)
業種について具体的に知ることができた	51.1	51.4	54.0	51.1	50.5	52.8	49.4	53.7	49.4	49.3	49.6	58.3
仕事内容を具体的に知ることができた	46.0	43.4	52.0	42.2	51.2	45.0	54.0	45.8	46.3	48.3	44.2	59.8
企業・各種団体等の事業内容を具体的に知ることができた	25.4	23.4	24.6	23.2	29.3	34.7	26.9	28.4	16.4	25.0	27.4	42.5
企業・各種団体等・職場の雰囲気を知ることができた	26.3	26.8	26.2	26.9	25.2	21.8	26.8	30.1	14.3	24.7	30.3	38.6
自分のスキルを見極めることができた	17.3	13.4	18.3	12.7	24.8	26.2	24.1	17.5	19.3	17.4	15.2	16.5
自分自身のキャリア観を明らかにすることができた	11.6	13.8	13.5	13.8	7.5	9.7	6.4	12.1	9.5	13.7	10.5	15.7
インターンシップに参加した企業・各種団体等から内定取得できた	9.1	9.2	11.8	8.9	8.8	7.6	9.3	10.8	5.7	9.2	8.5	13.4
社会人との人脈を作れた	6.1	6.3	5.1	6.4	5.7	5.3	5.8	4.7	5.6	8.4	6.5	11.0
他の就職活動中の学生との人脈を作れた	6.9	6.0	7.1	5.8	8.8	3.2	11.3	5.1	11.1	6.5	7.3	8.7
その他	0.9	1.4	0.4	1.5	-	-	-	0.5	2.9	0.8	0.4	0.8
特にない	10.7	11.4	11.1	11.5	9.2	4.6	11.2	9.1	11.8	12.1	11.1	10.2

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

* 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示されている数値と文字色や網掛けが一致しない場合がある。

⑬ インターンの参加状況

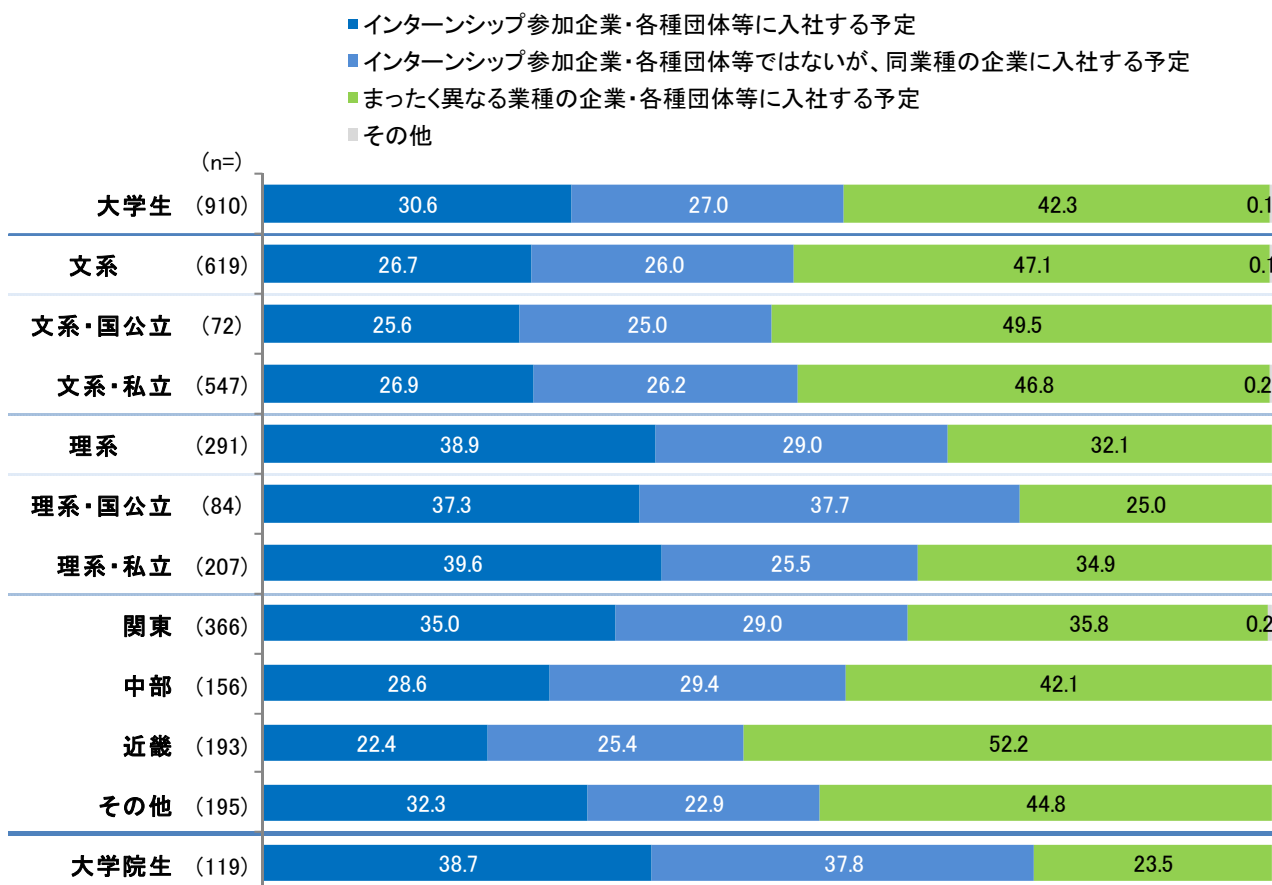
インターンシップ参加企業への入社予定は、大学生は3割。4割強が「異業種に入社予定」。
文系大学生で「異業種に入社予定」、理系大学生で「参加企業に入社予定」の割合が高い。

インターンシップに参加した企業／同業種への入社予定は、大学生は「インターンシップ参加企業・各種団体等に入社する予定」が3割、「まったく異なる業種の企業・各種団体等に入社する予定」が4割強となっている。

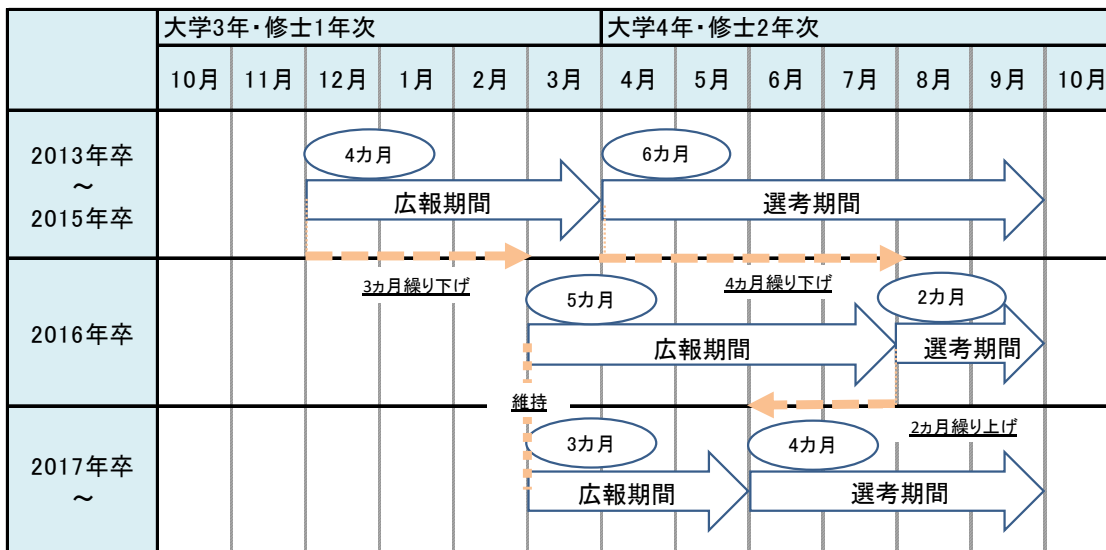
属性別にみると、文系大学生で「まったく異なる業種の企業・各種団体等に入社する予定」、理系大学生で「インターンシップ参加企業・各種団体等に入社する予定」の割合が高い。

一方、大学院生は「インターンシップ参加企業・各種団体等に入社する予定」「インターンシップ参加企業・各種団体等ではないが、同業種の企業に入社する予定」の合計で7割後半となっており、同業種への入社意向が高い。
 (図表36)

図表36 インターンシップに参加した企業／同業種への入社予定(単一回答、単位=%)



●2013年卒以降のスケジュール変更の詳細



●公益社団法人全国求人情報協会とは

公益社団法人全国求人情報協会(理事長:鈴木孝二 略称:全求協)は、1985年2月に設立。全国の求人サイト・有料無料求人情報誌・折込求人紙を運営・発行する70社の会員で構成されており、自主規制のための掲載基準作成、求人情報に関する苦情・相談業務や調査・研究などの活動を実施。

●新卒等若年雇用部会とは

新卒等若年雇用を巡る問題が我が国の労働市場における大きな課題となる中、その課題に取り組むための専門部会として、2013年に「新卒等若年雇用部会」を設置。マッチングの高度化を通じ、よりよい就職・採用がスムーズ行われるよう、とりわけ集团的就職活動特有の課題をまとめ、様々なアクションプラン等を検討、実行している。

●公益社団法人全国求人情報協会 新卒等若年雇用部会 会員企業 (社名五十音順)

株式会社アクセスヒューマネクスト、株式会社アルバイトタイムス、株式会社イフ、株式会社学情、株式会社KG情報、株式会社廣済堂、株式会社ジェイ・ブロード、株式会社ダイヤモンド・ヒューマンリソース、株式会社ディスコ、株式会社文化放送キャリアパートナーズ、株式会社北海道アルバイト情報社、株式会社マイナビ、株式会社リクルートキャリア